Talea

Ring

取扱説明書

はじめに

このたびはTalea Ring（以下本製品）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、コーヒー豆を使ってエスプレッソやコーヒーを抽出するのに適しており、
スチームやお湯を供給する装置も備えています。
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
特に「安全上のご注意」はご使用の前に必ずお読みください。

一般事項

以下に記載した原因による損傷は責任を負いかねます。

- **本来の目的に反した使用による場合**
- **修理が弊社指定のサービスセンターで行われなかった場合**
- **電源コードを改造された場合**
- **本製品のどこかを改造された場合**
- **オリジナルではないスペアパーツや付属部品を使用された場合**
- **除石灰作業を行なわなかった場合や本製品を0℃以下の環境で使用、もしくは保管された場合**

これらの場合、保証は無効となりますので、あらかじめご了承ください。

**使用者の安全の為に、警告および注意表示は全ての重要な注意点を示しています。
大きな傷害事故を避けるため、これらの注意書きをしっかり守ってください。**

製造番号について

本体サイドドア内側に製造番号（シリアル番号）のシールを貼付しています。

**シールは絶対に剥がさないでください。
これらの表示内容は全て、サービスセンターにメンテナンスを
ご依頼される際に必要となる重要な情報です。**

目次

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

ここに示す注意事項は、本製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や周囲の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

- **本製品のご使用前に、取扱説明書や同梱の印刷物を必ずお読みください。**
- **取扱説明書は、すぐに取り出せるところに保管し、必要なときにお読みください。**
- **ご不明な点は、弊社の技術・流通センター（TEL：050-5525-7025）までご連絡ください。**

誤った使い方で生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
注意	誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性または物的損害のみの発生が想定される内容です。

絵表示の例

	この記号は「警告・注意」の内容です。 △記号の中や近くに具体的な注意内容が記載されています。
	記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
	●記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警　告

電源は「15 A　125V」と記載（刻印）されている壁面のコンセントから直接お取りください。

タコ足配線をすると火災の原因になります。

電源は交流 100 V をご使用ください。

交流 100 V 以外の使用は火災の原因になります。

アース線を確実に取り付けてください。

アース接続をしていないと、故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電する恐れがあります。

電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグを持って引き抜いてください。差し込む時は根元までしっかりと差し込んでください。

感電、ショート、発煙、発火の恐れがあります。

電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭き取ってください。

ショート、発煙、発火の恐れがあります。

電源プラグ、コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、はさみ込んだり、たばねたり、加工したり、重いものをのせたり、火気の近くで使用しないでください。

コードが破損をして感電、火災の原因となります。

本体、電源プラグ、コードを水につけたり、水をかけないでください。

感電、ショートの恐れがあります。

電源プラグやコードが痛んだり、コンセントへの差込みがゆるい時は使用しないでください。

感電、ショート、発火の恐れがあります。

使用していないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

絶縁劣化による感電、漏電火災の原因になります。

独自の改造や分解は絶対にしないでください。また製品のカバーを取り外したり、内蔵のパーツに触れないでください。

感電、ショート、発火の恐れがあります。

子供など取扱いに慣れていない人だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しないでください。

ヤケド、ケガの原因となります。

はじめに／安全上のご注意／設置場所

使用中は、熱を帯びる部分に手や電気コードを触れさせないでください。（コーヒー抽出口やスチーム給湯ノズル、カップウォーマー等）

ヤケド、破損の原因となります。

スチーム・給湯ノズルの噴出口に手や顔を近づけたり、触れないでください。

ノズルから高温の蒸気や熱湯が噴出しますので、ヤケドの原因となります。

製造元が推奨する付属機器以外は決して使用しないでください。

感電、火災、破損の原因となります。

本製品を本来の使用目的以外には、使用しないでください。

火災、故障の原因となります。

万一、異常が発生した場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

注　意

不安定な場所に設置しないでください。

ヤケド、破損の原因となります。

水や火気の近くで使用しないでください。また壁や家具の近くで使用しないでください。

故障・破損の原因となります。また壁や家具を傷め、変色変形の原因となります。

水タンクにはお湯や熱湯を入れないでください。

製品が正常に稼働しない恐れがあります。

お手入れの前には、コンセントから電源プラグを外してください。パーツの取り付け、取り外し、クリーニングは製品が冷めてから行ってください。

ヤケドの原因となります。

洗剤をご利用の場合は台所用洗剤を使用してください。クレンザーなどの研磨剤の入った洗剤は避けてください。水に浸した柔らかな布でふいてしてください。

破損の原因となります。

マシン内部に付着した石灰質（スケール）の除去のために、除石灰剤を用いた除石灰作業を定期的に行ってください。

作業をおこたると故障の原因になります。

使用後は必ずお手入れをしてください。

お手入れをおこたると故障の原因になります。

電源コードをテーブルやカウンターの縁から垂らさないでください。

ケガ、破損の原因になります。

屋外では使用しないでください。

高温ガス、電気コンロの上や近く、熱したオーブンなどの近くへ置かないでください。

本製品に衝撃を与えないでください。

故障の原因となります。

万一、火災の場合は炭酸ガス消火器をお使いください。

水や粉末消火器は使用しないでください。

設置場所

- 安定した丈夫で平らなところに置いてください。
- 水のかかる場所には置かないでください。
- 温度10℃～ 40℃、湿度90%以下の環境で使用してください。
- 0℃以下になる場所で使用する場合､弊社技術･流通センターまでご相談ください。安全点検を行います。
- 湿気が少なく、風通しのよいところに置いてください。
- 火気のある場所、ほこりっぽいところ、オイルミストが浮遊する場所では使用しないでください。
- 本製品を他の機器の上に置かないでください。
- 熱源の上に置かないでください。また熱源の近くに置くときは10cm以上離してください。
- 可燃物、危険物の近くに置かないでください。

Talea Ringの特長

コーヒーの抽出は、コントロールパネルのボタンを押すだけ。

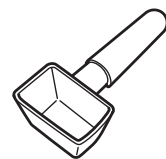
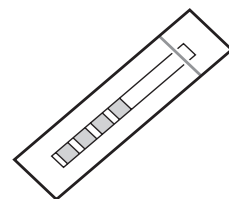
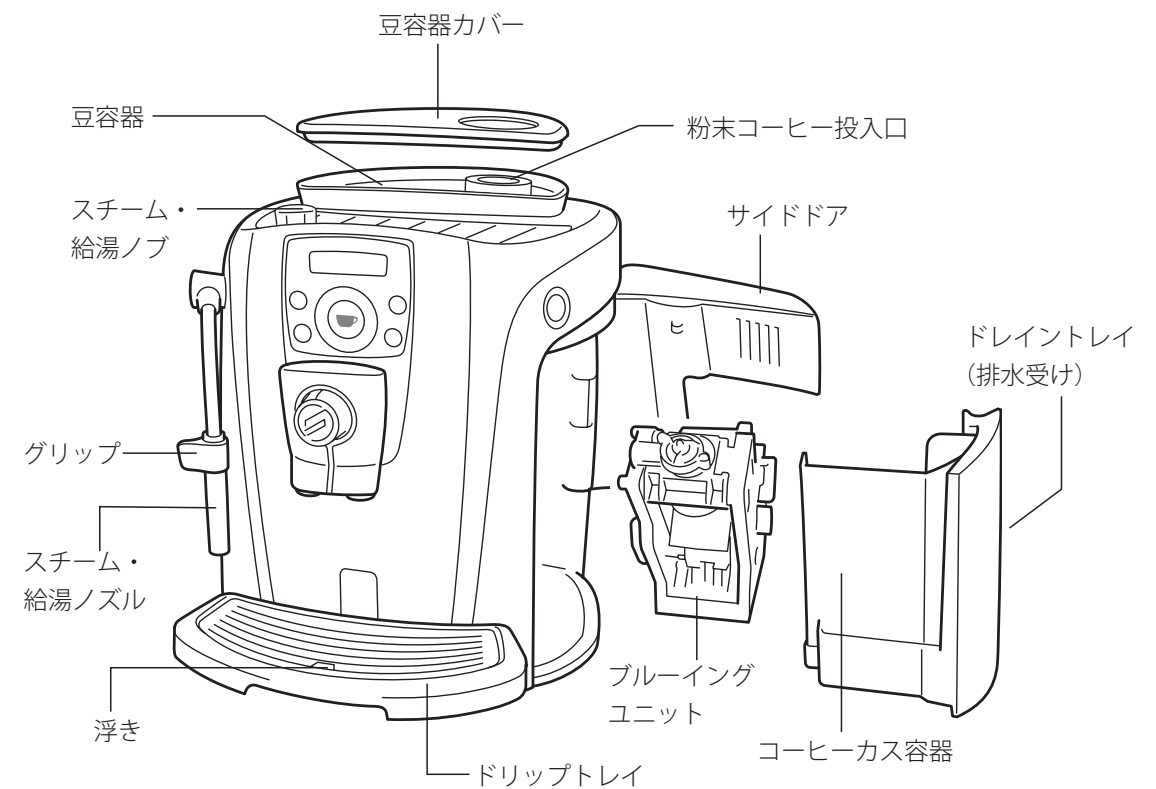
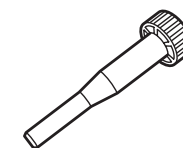
Talea Ringの特長

各部の名前

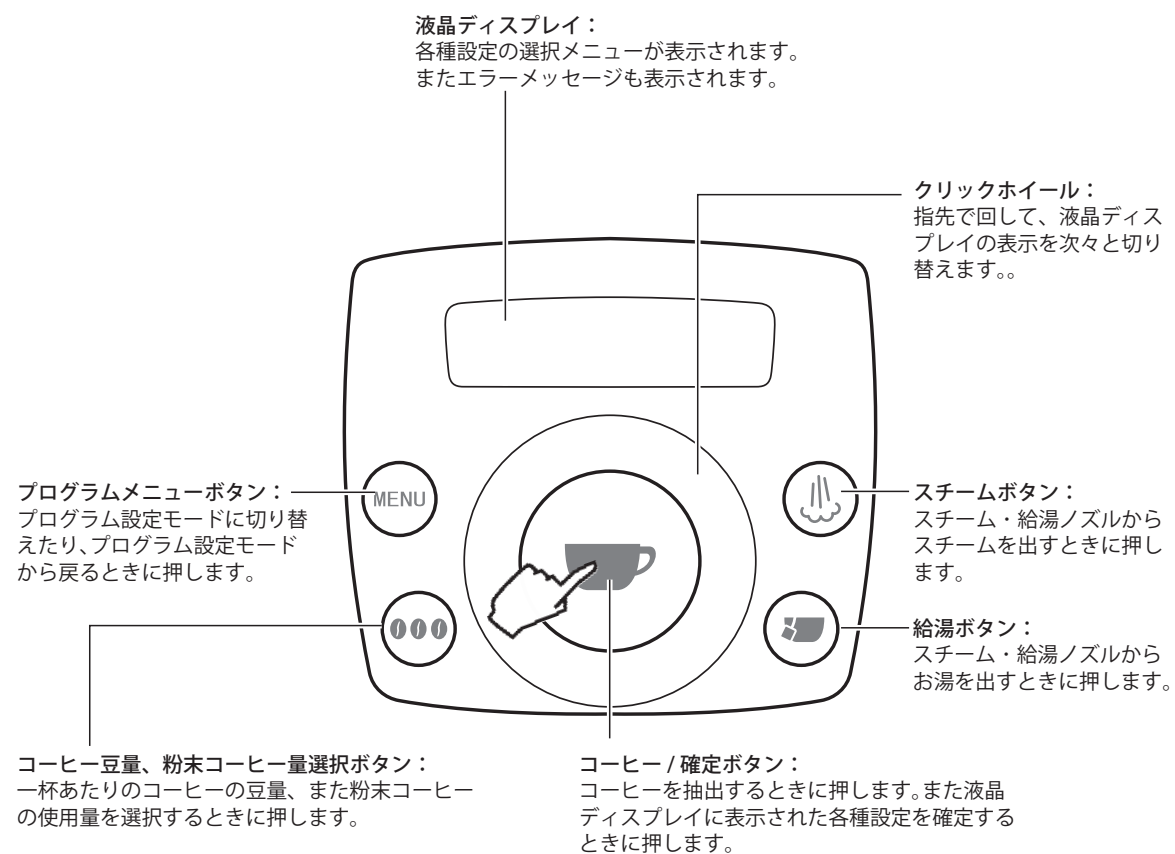
本体

付属品

アクアプリマ

デカルリキッド

粉末コーヒー用
メジャースプーン

水硬度測定紙

クリーニングブラシ

豆の挽き粗さ調節キー

電源コード

コントロールパネル

2杯分のコーヒーを抽出するためには

・2杯分のコーヒーを抽出するためには、 ボタンを2度押します。

・2回分のコーヒーを抽出するときは、まず各カップに半分の量を抽出します。
豆挽きのために抽出を一時中断しますが、しばらくすると再度抽出が始まります。

画面設定の一覧

各部の名前

初めて使うときの準備

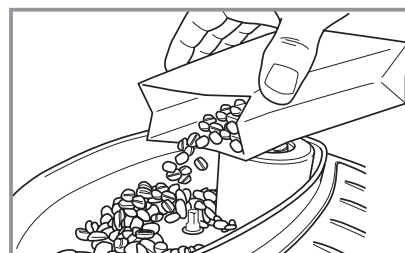
ご利用の前に

⚠ 警告	セットアップする前に、電源コードがコンセントから抜かれた状態になっていることを確認してください。準備ができていない状態で電源が入っていると故障の原因になります。

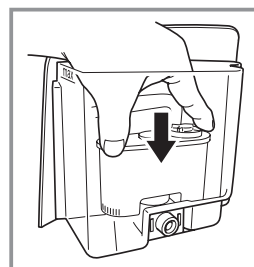
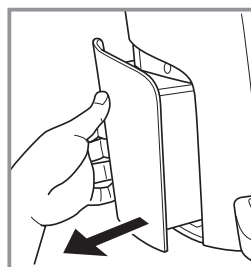
1 豆容器カバーを外して、コーヒー豆を入れます。

カバーを閉じます。

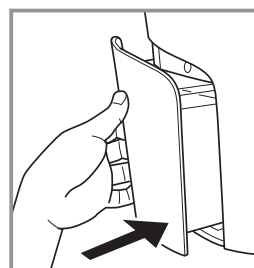
!注意 コーヒー豆以外のものは入れないでください。

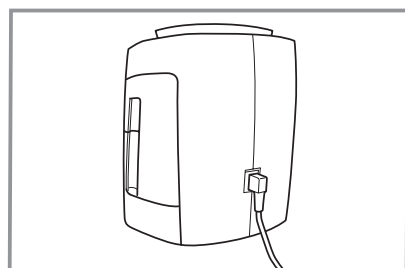
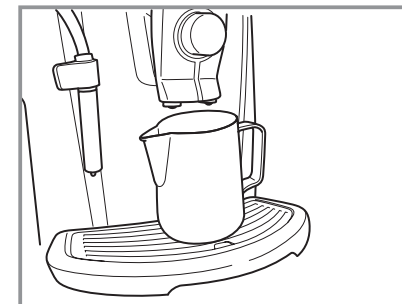
!注意 豆容器の中に水がかからないようにしてください。

2 水タンクを取り外し、アクアプリマを装着します。

［☞ 15 p　アクアプリマの装着］

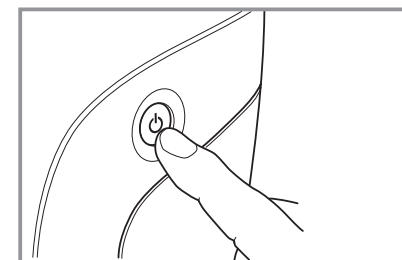
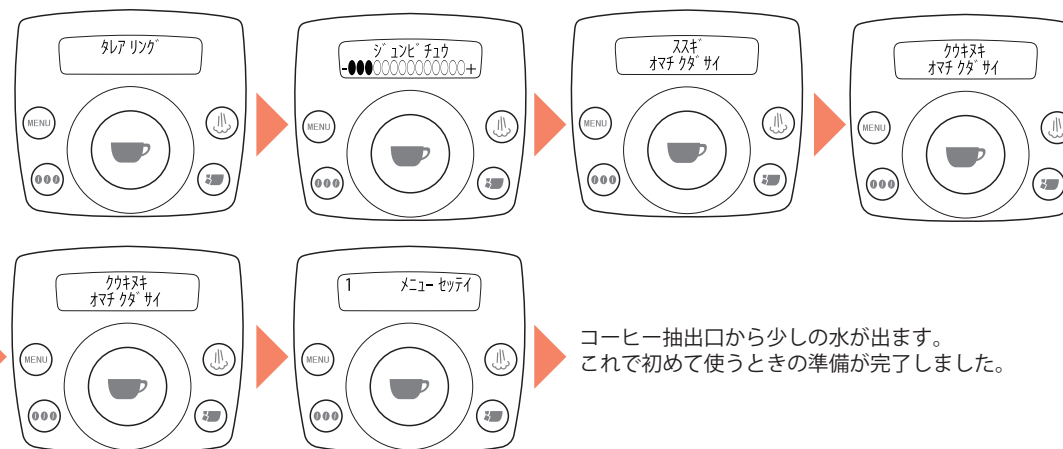
!注意 水タンクのフタを確実に取り付けてください。

3 水タンクに水を入れて、本体に取り付けます。

!注意 水の量はMAXの下までくるように入れます。

水面は MAX の下まで。

4 本体に電源コードを取り付け、コンセントに差し込みます。

!注意 濡れた手で触らず、根元まで差し込んでください。

5 コーヒー抽出口の下に容器を置きます。

6 電源ボタンを押します。

使用言語を選択するようにディスプレイに表示されますので、本製品をお使いになる国の言語を設定してください。

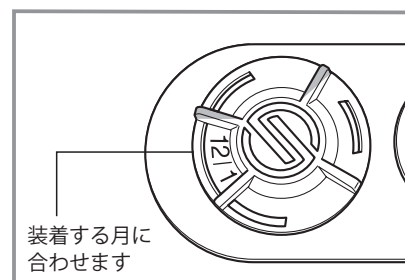
［☞ @@ p　表示言語を変更する］

7

コーヒー抽出口から少しの水が出ます。
これで初めて使うときの準備が完了しました。

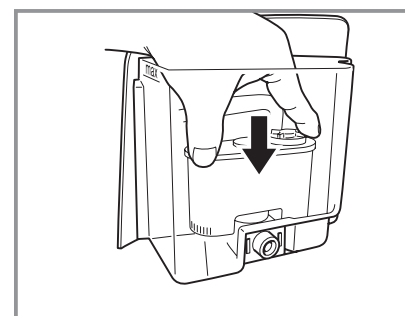
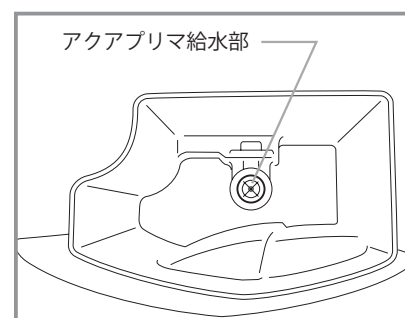
アクアプリマの装着

アクアプリマは、水道水のいやなにおいを取り除き、石灰質のマシン内部への付着を軽減するためのフィルタです。

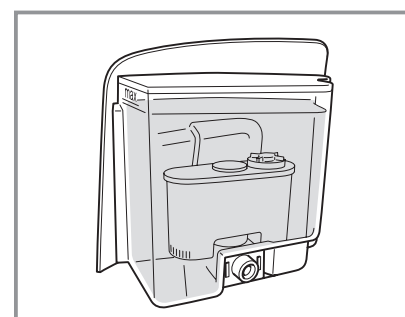
メモ アクアプリマを装着し、きちんと設定することにより除石灰サイクルの頻度を下げることができます。

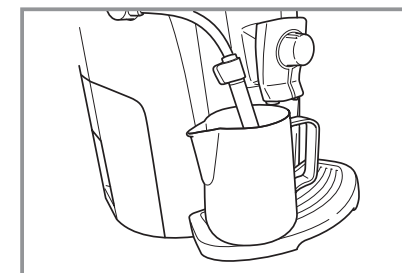
1 アクアプリマをパッケージから取り出します。

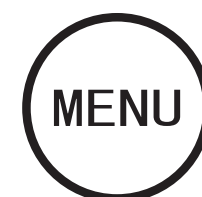
アクアプリマ上部のダイヤルを回して装着する月に合わせます。

2 空の水タンクにアクアプリマを取り付けます。

メモ アクアプリマのご購入は本製品のご購入先でお求めください。
また弊社ホームページからもご注文いただけます。
www.saeco.co.jp/

水タンクの底にある給水部にアクアプリマをしっかりとはめ込んでください。

3 水タンクに水を入れて30分間つけておきます。

!注意 水面がアクアプリマの上にくる様に水を入れてください。

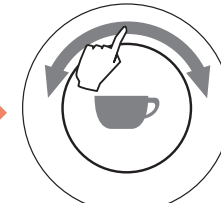
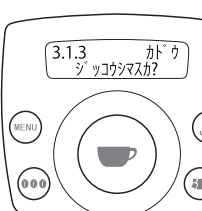
!注意 水タンクのフタを確実に取り付けてください。

4 水タンクをマシン本体に取りつけ、スチーム・給湯ノズルの下に500cc 程度の容器を置きます。

 注意 操作中、スチーム・給湯ノズルは高温になるので、素手で触れないでください。ヤケドの原因となります。

5

画面は「ミディアムアロマ　アメリカンタイプ」での例です

プログラムメニューボタンを押します。

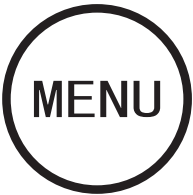
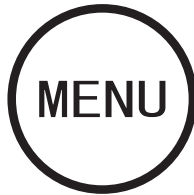
クリックホイールを回して「メンテナンス」を選択

コーヒー / 確定ボタンを押します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

クリックホイールを回して「カドウ」を選択

コーヒー / 確定ボタンを押します。

6 **「アケテクダサイ　キュウトウ･スチームノブ」というメッセージが表示されたら、ノブを♨💧の位置まで回します。**

スチーム・給湯ノズルからお湯が出てきます。

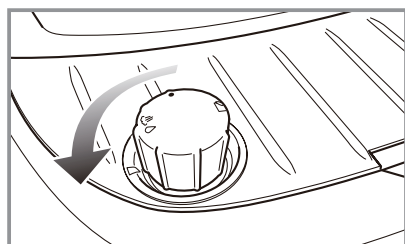
7

8 **「シメテクダサイ キュウトウ・スチームノブ」というメッセージが表示されたら、ノブを●の位置まで戻します。**

これで設定が完了しました。

抽出画面に戻ります。

9

ｱｸｱﾌﾟﾘﾏ ｶﾄﾞｳ
ｵﾝ

3 ﾒﾝﾃﾅﾝｽ

10

プログラムメニューボタンを押します。

プログラムメニューボタンを押します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

コーヒーを入れる前の調整

コーヒーの濃さを調整する

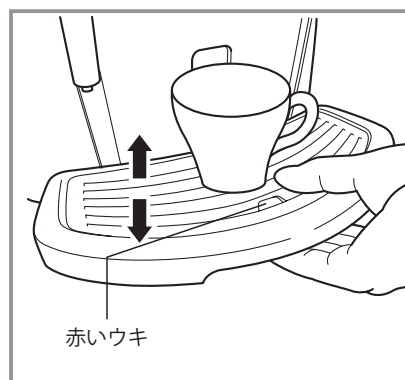
SBS（サエコ・ブルーイング・システム）

ダイヤルを回すだけで、抽出するコーヒーの濃度を
マイルド・ミディアム・ストロングに無段階で調整できます。
抽出している途中でも、ダイヤルを回せばすぐに選んだ味わいになります。

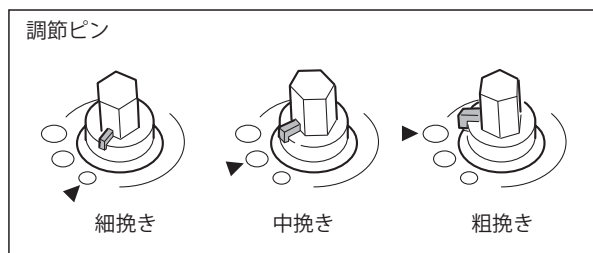
メモ 豆の挽き粗さが細かい場合、ストロングの位置にすると、コーヒーの抽出が悪くなる（細い、遅い）場合がありますが故障ではありません。ダイヤルを左（マイルド）へ回してください。

ドリップトレイの高さを調節する

カップの高さに合わせてドリップトレイの高さを調節できます。

!注意 ドリップトレイの中にある赤いウキが浮き上がっていたら、トレイにたまっている水を捨ててください。

豆の挽き粗さを調節する

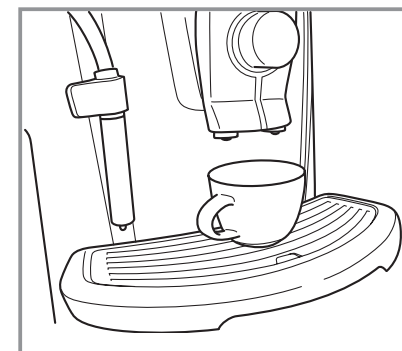
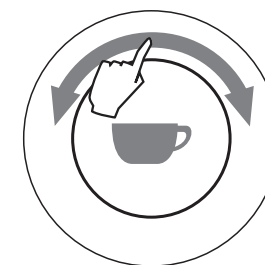
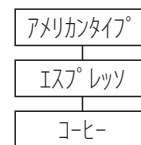
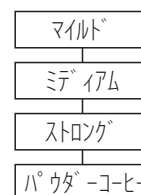
豆容器内のピンを使って、豆の挽き粗さを調節できます。
付属の豆の挽き粗さ調節キーで、豆容器内にある調節ピンを下に押しながら回します。一度に1刻みずつ調節してください。

メモ 細挽き、中挽き、粗挽きが選択できます。２～３カップ程度のコーヒーを抽出し、味わいの変化を確認してください。

コーヒーを入れる

エスプレッソ/コーヒー /アメリカンタイプを入れる

1 カップを置きます。

2 クリックホイールを回して抽出したいコーヒーを表示させせます。

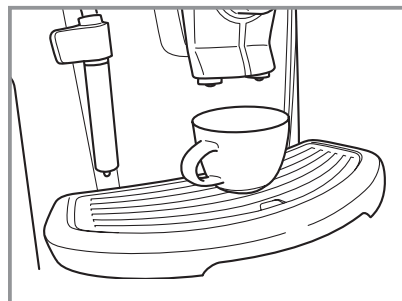
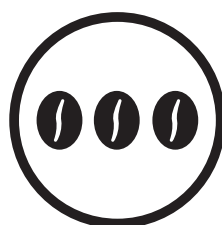
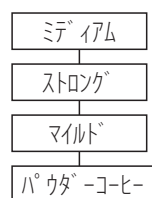
ｱﾒﾘｶﾝﾀｲﾌﾟ
ｴｽﾌﾟﾚｯｿ
ｺｰﾋｰ

3 1杯あたりのコーヒー豆量を変えたいときは、ooo ボタンで選んで押します。

4 を押します。

抽出を途中でやめたい場合は、もう一度 を押します。

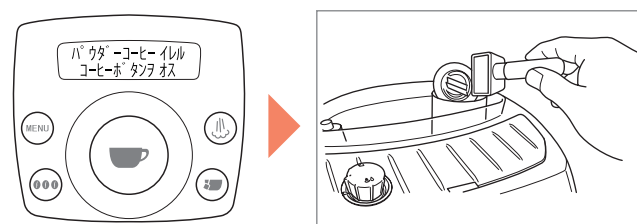
粉末コーヒーで入れる

!注意 エスプレッソマシン用に挽かれた粉末コーヒーがご利用いただけます。コーヒー豆やインスタントコーヒーは使用できません。

!注意 一度に抽出できるのは１杯だけです。粉末コーヒーを入れるときは、付属のメジャースプーンで1杯分を入れてください。

1 カップを置きます。

2 ボタンを押し､｢パウダーコーヒー｣を表示させます。

3 を押し、｢パウダーコーヒー｣を選択します。

を押します。

4 ｢パウダーコーヒーイレル　コーヒーボタンヲオス｣というメッセージが表示されたら、粉末コーヒー投入口に、付属のメジャースプーンで1杯分の粉末コーヒーを入れます。

!注意 付属のメジャースプーンで1杯以上入れると故障の原因となります。

5 を押します。

抽出を途中でやめたい場合は、もう一度を押します。

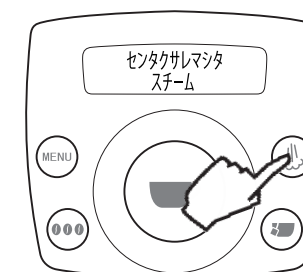
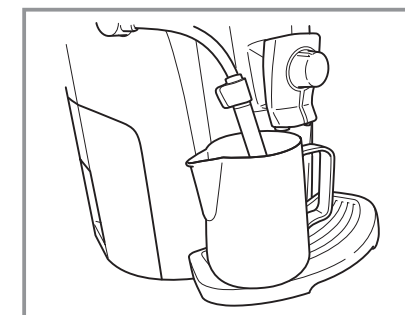
カプチーノを入れる

⚠ 注意　操作中、スチーム・給湯ノズルは高温になるので、素手で触れないでください。ヤケドの原因となります。

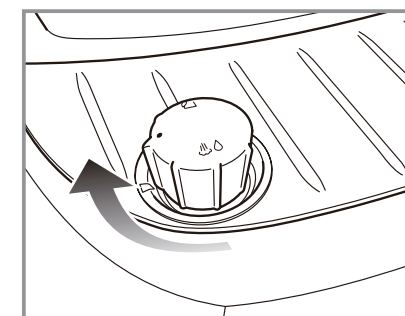
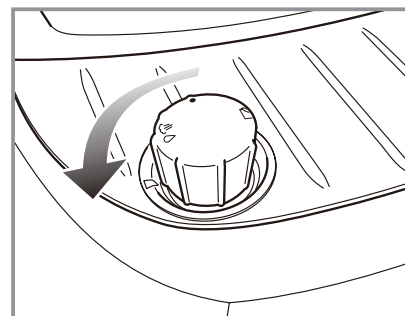
メモ スチーム・給湯ノズルに触れる場合は、黒いゴムのグリップ部分をお持ちください。

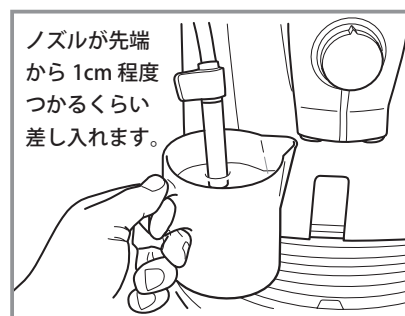
1 容器に冷たいミルクを1/3ほど入れます。

2 を押します。

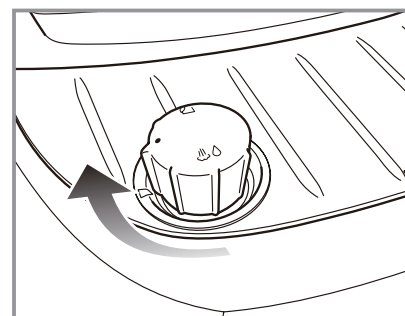
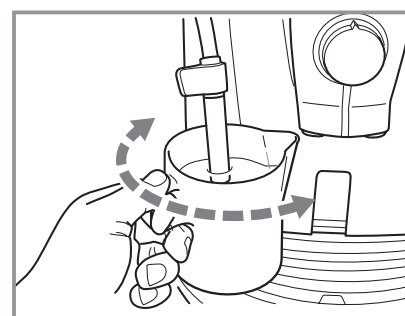
メッセージが数秒表示されます

3 スチーム・給湯ノズルの下に空の容器を置いてください。

4 スチーム・給湯ノブをの位置まで回し、安定してスチームが供給されるまでお待ちください。

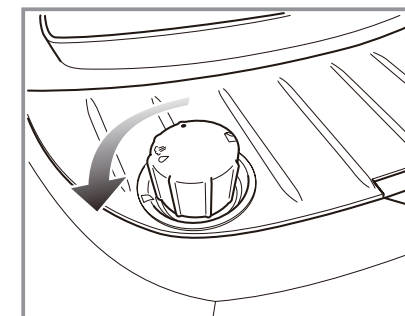
⚠ 警告　少量のスチームとお湯が噴出し、続いてスチームが出てきます。スチーム・給湯ノズルの近くに手を置かないでください。ヤケドの原因になります。

メモ スチームの出始めではノズル内に残っている水が出ます。ミルクを泡立てる前に３～５を行うとミルクが薄まることがありません。

5 スチームが安定して出てきたらスチーム・給湯ノブを●まで戻してください。

6 スチーム・給湯ノズルをミルクを入れた容器に浅く差し入れます。

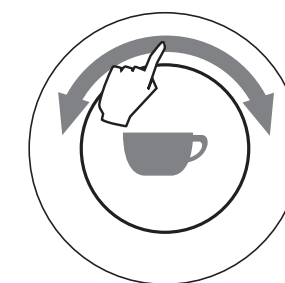
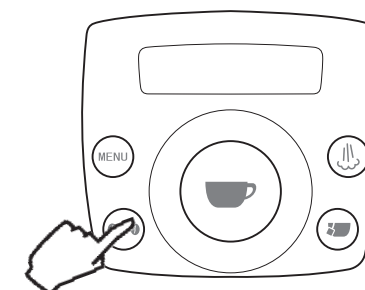
 注意 操作中、スチーム・給湯ノズルは高温になるので、素手で触れないでください。
ヤケドの原因となります。

7 スチーム・給湯ノブを♨💧の位置まで回します。

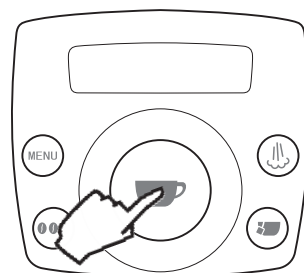
ミルクの泡立てが始まります。

!注意 ミルクの飛びはねにご注意ください。

8 ミルクの泡立て中は、容器をゆっくり回します。

9 泡立てが終了したら、スチーム・給湯ノブを●の位置まで戻します。

!注意 泡立てが終わったら、スチーム・給湯ノズルをよくふき、スチームを少し出してノズルの中のミルクを吹き飛ばしてください。

10 カプチーノをいれるカップにミルクフォームを入れます。

11 ミルクフォームの入ったカップをコーヒー抽出口の下に置きます。

12 クリックホイールを回して「エスプレッソ」を選択します。

13 ●●● ボタンを押し、コーヒー豆の量を調整します。

14 ボタンを押します。

抽出を途中でやめたい場合は、 を押します。

ミルクアイランド（オプション）を使ってカプチーノを入れる

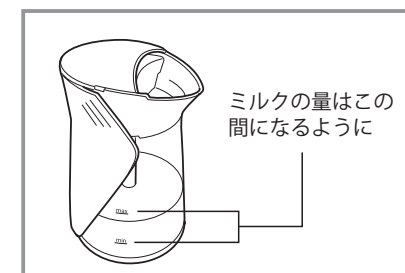
ミルクアイランド(オプション)を使って、ふわふわのミルクフォームを簡単に作ることができます。

!注意 取付方法などは、事前にミルクアイランドの取扱説明書をよくお読みください。

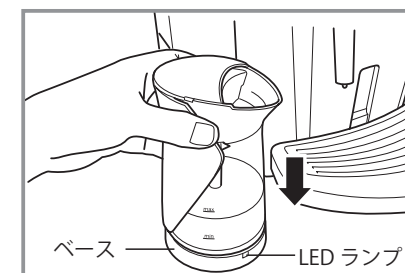
!注意 使用後は、ミルクアイランドをよく洗浄してください。

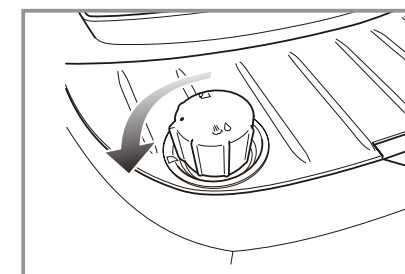
メモ 最上のカプチーノを作るために、０～８℃の冷たいミルクを使用してください。

1 カラフェにミルクを入れます。

!注意 液面がMINとMAXの間になるようにミルクを入れます。

2 カラフェをベースの上に置きます。

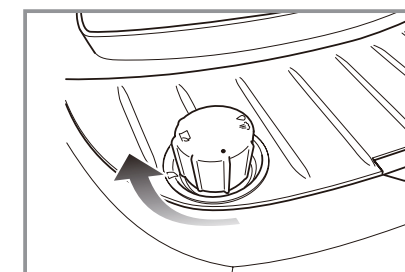
メモ カラフェは押し回すように差し込んでください。

!注意 ベースのLEDランプが赤色から緑色に変わったことを確認してください。

3 スチーム・給湯ノブを の位置まで回します。

しばらくするとミルクの泡立てが始まります。

4 ミルクがお好みの状態まで泡立ったら、スチーム・給湯ノブを●の位置まで戻します。

メモ 連続して２分間スチームを噴出すると、自動的に停止します。さらにスチームを使用する場合は、一度スチーム・給湯ノブを●の位置まで回し、 へ戻してください。

メモ ミルクは約２倍の量になります。

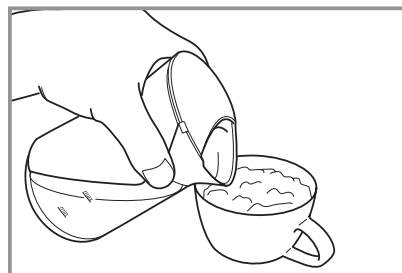
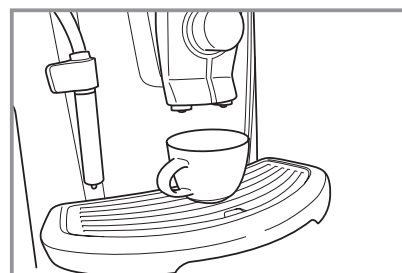
コーヒーを入れる

5 **黒いハンドル部分を持って、ベースを押さえながらカラフェを外します。**

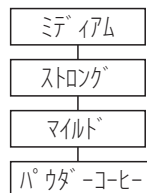
カラフェを回してミルクフォームを均一にします。

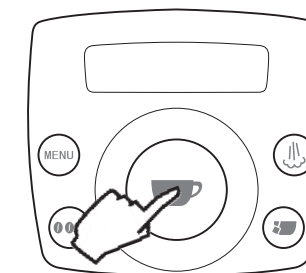
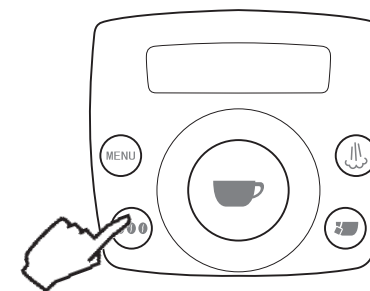
注意 ガラス部分は高温のため触らないでください。

ガラス部分

6 **カラフェをゆっくり回しながら、カップへミルクフォームを注ぎます。**

メモ ミルクの泡がカラフェ内に残ることがあります。スプーンですくってください。

7 **ミルクフォームの入ったカップを抽出口の下に置きます。**

8 **クリックホイールを回して「エスプレッソ」を選択します。**

9 **●●● ボタンを押し、コーヒー豆の量を調整します。**

10 **ボタンを押します。**

抽出を途中でやめたい場合は、 を押します。

お湯を入れる

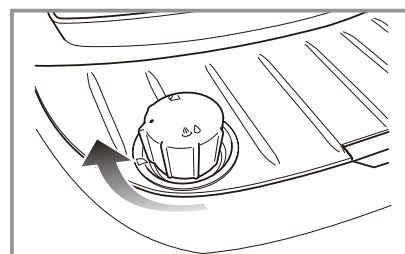
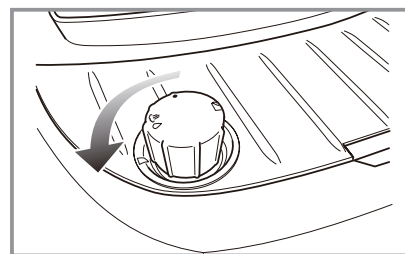
⚠ **注意**　操作中、スチーム・給湯ノズルは高温になるので、素手で触れないでください。
ヤケドの原因となります。

メモ スチーム・給湯ノズルに触れる場合は、黒いゴムのグリップ部分をお持ちください。

1 カップを置きます。

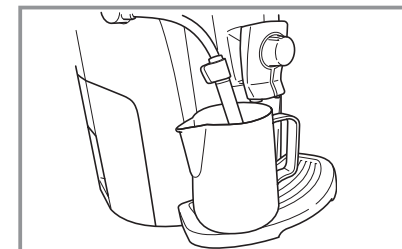
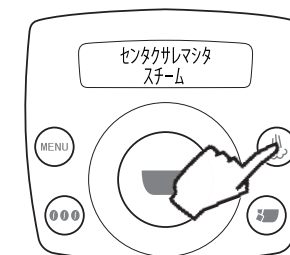
2 ボタンを押します。

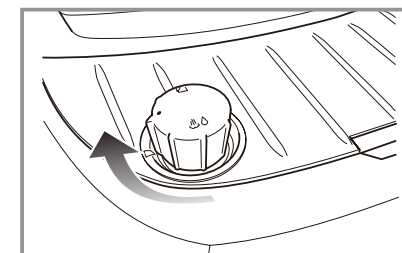
3 スチーム・給湯ノブを の位置まで回すと、スチーム・給湯ノズルからお湯が出ます。

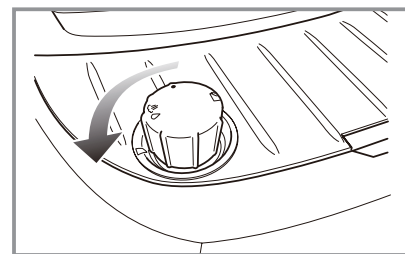
⚠ **警告**　はじめに少量のスチームとお湯が噴出し、続いてお湯が出てきます。スチーム・給湯ノズルの近くに手を置かないでください。
ヤケドの原因になります。

4 お湯を止めるときは、スチーム・給湯ノブを●の位置まで戻します。

ドリンクを温める

⚠ **注意**　操作中、スチーム・給湯ノズルは高温になるので、素手で触れないでください。
ヤケドの原因となります。

メモ スチーム・給湯ノズルに触れる場合は、黒いゴムのグリップ部分をお持ちください。

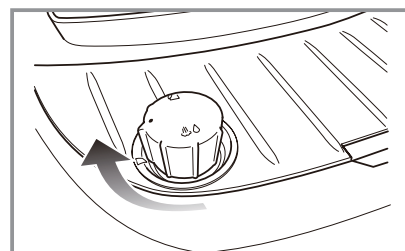
1 スチーム・給湯ノズルの下に空の容器を置いてください。

2 ボタンを押します。

3 スチーム・給湯ノブを の位置まで回し、安定してスチームが供給されるまでお待ちください。

 警告　はじめに少量のスチームとお湯が噴出し、続いてスチームが出てきます。スチーム・給湯ノズルの近くに手を置かないでください。
ヤケドの原因になります。

メモ スチームの出始めではノズル内に残っている水が出ます。
ミルクを泡立てる前に３～５を行うとミルクが薄まることがありません。

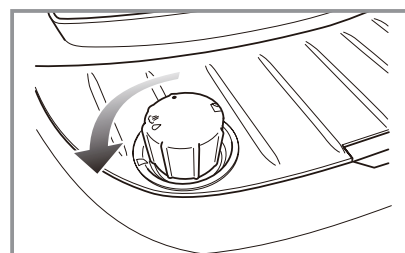
4 スチームが安定して出てきたらスチーム・給湯ノブを ● まで戻してください。

5 温めたいドリンクが入った容器を、スチーム・給湯ノズルの下に置きます。

スチーム・給湯ノズルを温めたいドリンクが入った容器に深く差し入れます。

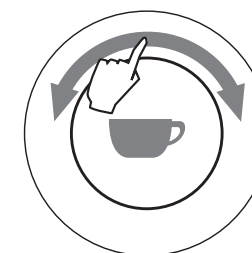
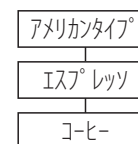
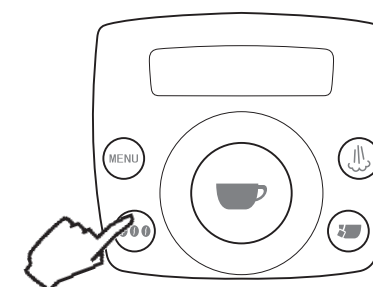
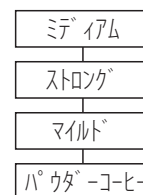
6 スチーム・給湯ノブを の位置まで回すと、スチームが出ます。

警告	少量のスチームとお湯が噴出し、続いてスチームが出てきます。スチーム・給湯ノズルの近くに手を置かないでください。 ヤケドの原因になります。

スチーム・給湯ノズルをドリンクに深く沈めながら、容器をゆっくり回します。

7 ドリンクが温まったら、スチーム・給湯ノブを ● の位置まで戻します。

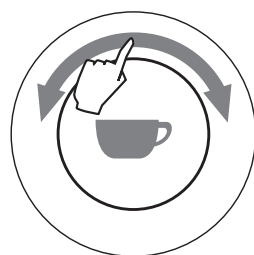
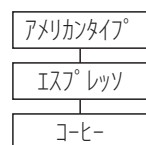
!注意 ドリンクの温めが終わったら、スチーム・給湯ノズルをよくふき、スチームを少し出してノズルの中のドリンクを吹き飛ばしてください。

一杯あたりの豆の量（アロマ）を設定する

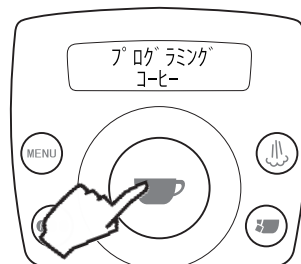
マイルド、ミディアム、ストロングの３段階で、一杯あたりの豆の量（アロマ）を設定することができます。

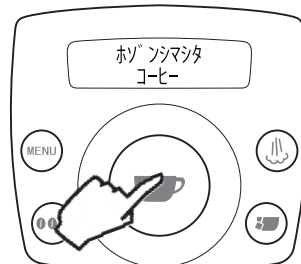
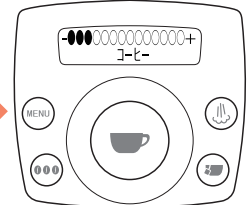
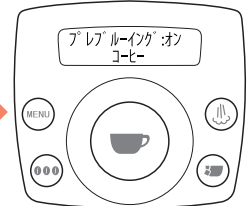
1 クリックホイールを回して抽出したいコーヒーを表示させます。

2 ボタンを押し、コーヒー豆の量を調整します。

一杯あたりのコーヒーの量を設定する

抽出に使用するお湯の量を設定します。

1 クリックホイールを回して抽出したいコーヒーを表示させます。

ｱﾒﾘｶﾝﾀｲﾌﾟ
ｴｽﾌﾟﾚｯｿ
ｺｰﾋｰ

2 ボタンを押し続けると、抽出が始まります。

メモ メニュー設定から設定することもできます。
[☞ @@p]

3 お好みの量になったら、 ボタンを押します。

蒸らし（プレブルーイング機能）を設定

蒸らし（プレブルーイング機能）とは、抽出の前にコーヒーを若干湿らせてその味と香りを十分に引き出すための機能です。

1

プログラムメニューボタンを押します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

2

クリックホイールを回して抽出したいコーヒーを表示させます。

3

コーヒー / 確定ボタンを押します。

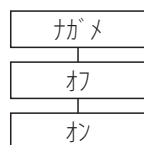
4

を 2 秒以上押します。

5

コーヒー豆量、粉末コーヒー量選択ボタンを押します。

6

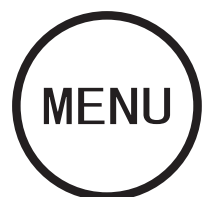
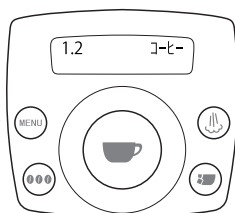
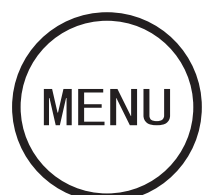
クリックホイールを回し蒸らし時間を選択します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

7

プログラムメニューボタンを押します。

8

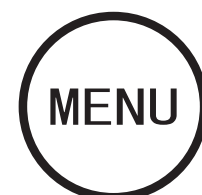
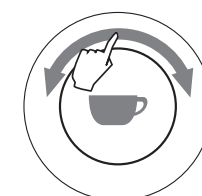
プログラムメニューボタンを押します。

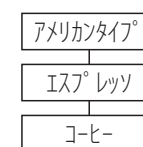
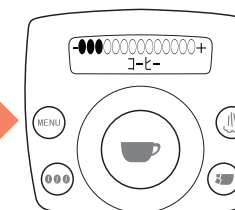
9

プログラムメニューボタンを押します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

コーヒーの抽出温度を設定する

ヒクメ（やや低めの温度）、フツウ（普通の温度）、タカメ（やや高めの温度）の３段階でコーヒーの抽出温度を設定することができます。

1 プログラムメニューボタンを押します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

2 クリックホイールを回して抽出したいコーヒーを表示させます。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

3

を 2 秒以上押します。

4

クリックホイールを回し蒸らし温度を選択します。

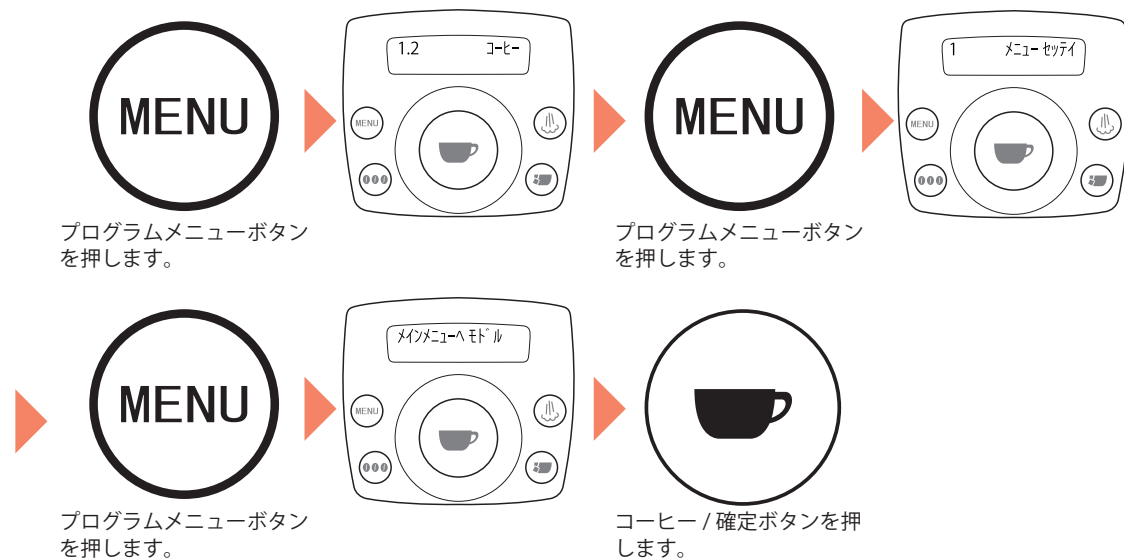
コーヒー / 確定ボタンを押します。

5　MENU を押す

プログラムメニューボタンを押します。

プログラムメニューボタンを押します。

プログラムメニューボタンを押します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

抽出前に一杯あたりの豆の量（アロマ）を設定する

マイルド、ミディアム、ストロングの３段階で、一杯あたりの豆の量（アロマ）を設定することができます。

粉末コーヒーの設定もこの画面で行います。
粉末コーヒー機能を用いてカフェインレスのコーヒーもお楽しみいただけます。

1　プログラムメニューボタンを押します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

2　クリックホイールを回して抽出したいコーヒーを表示させます。

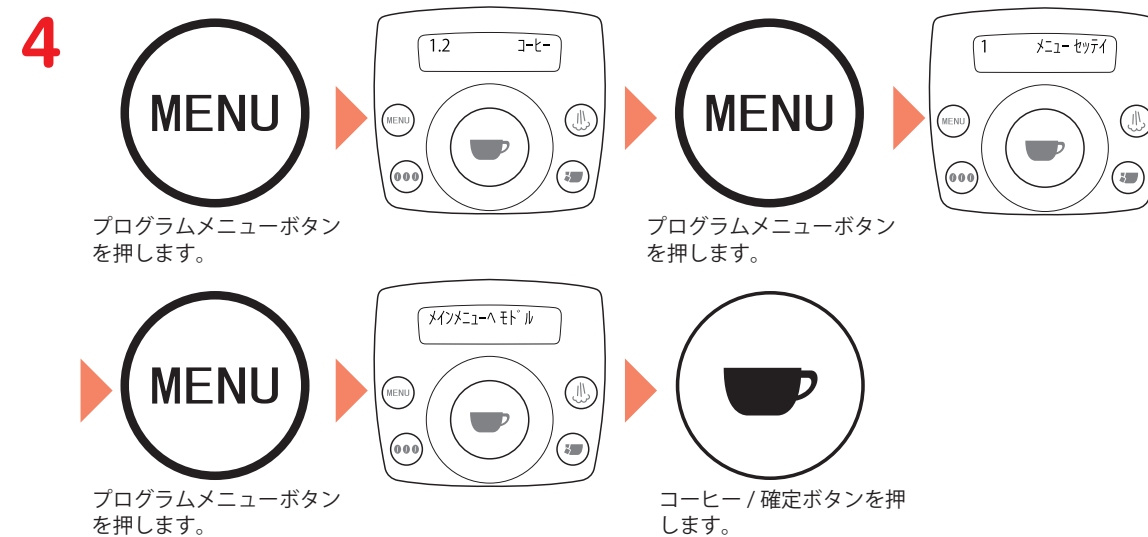
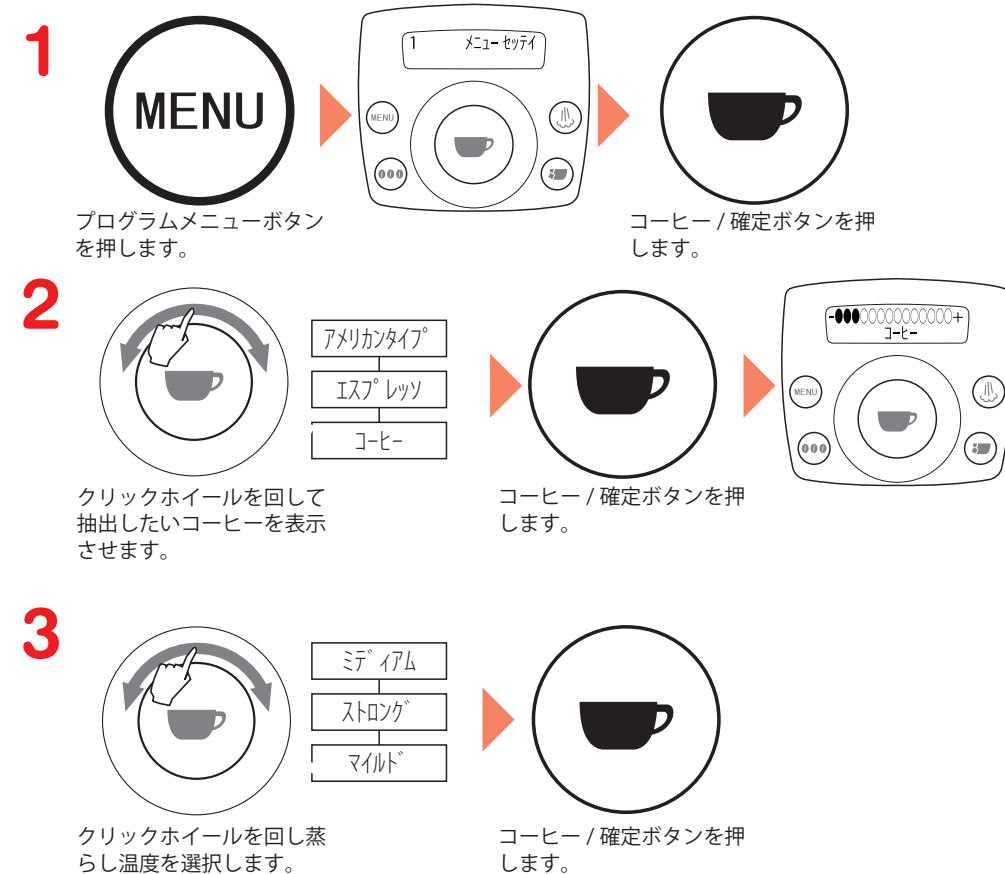
コーヒー / 確定ボタンを押します。

3　クリックホイールを回し蒸らし温度を選択します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

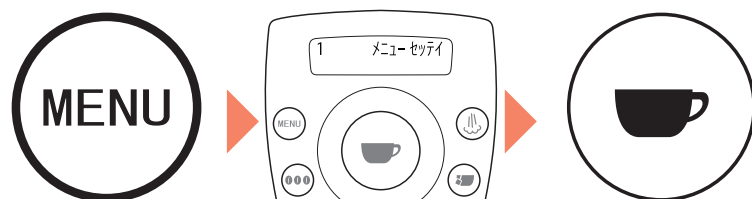
4　プログラムメニューボタンを押します。

プログラムメニューボタンを押します。

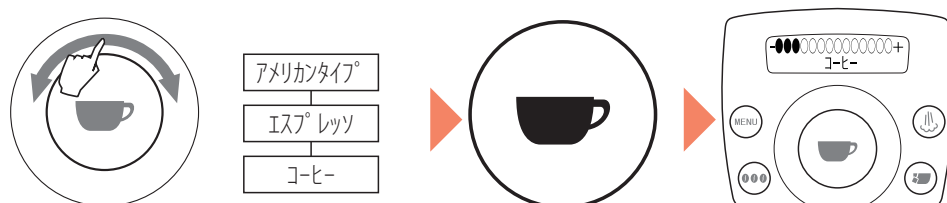
プログラムメニューボタンを押します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

抽出前に一杯あたりのコーヒーの量を設定する

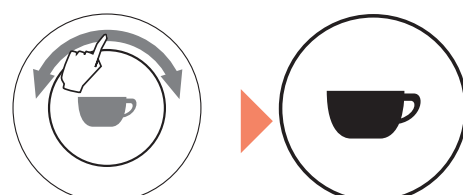
抽出に使用するお湯の量を設定します。
［☞ 実際に抽出される量を確認しながら設定する場合は@@Pを参照］

1

プログラムメニューボタンを押します。

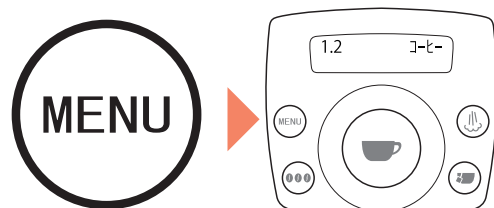
コーヒー / 確定ボタンを押します。

2

クリックホイールを回して抽出したいコーヒーを表示させます。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

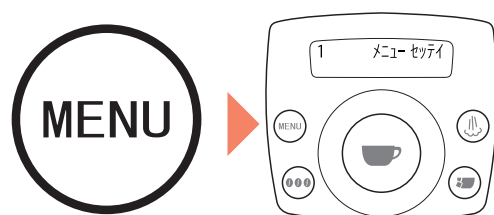
3

クリックホイールを回しコーヒーの抽出量を選択します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

4

プログラムメニューボタンを押します。

5

プログラムメニューボタンを押します。

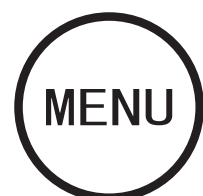
6

プログラムメニューボタンを押します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

本体の各種設定をする

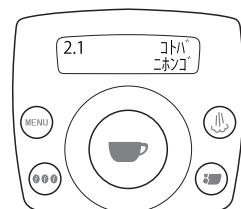
表示言語を変更する

注意　使用される国ごとに標準抽出量が設定されていますので、表示言語の設定は、使用する国に正しく合わせてください。

1

MENU

プログラムメニューボタンを押します。

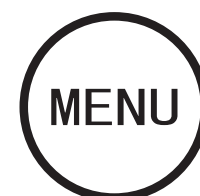
2

クリックホイールを回し「マシンセッテイ」を選択します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

3

クリックホイールを回して表示したい言語を表示させます。

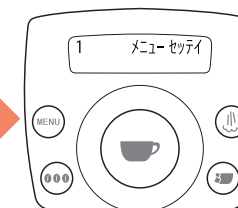
コーヒー / 確定ボタンを押します。

4

プログラムメニューボタンを押します。

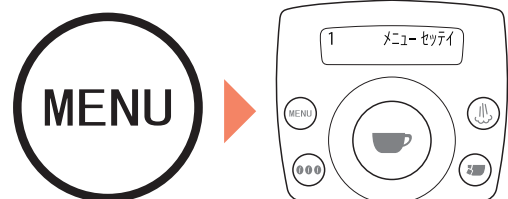
プログラムメニューボタンを押します。

プログラムメニューボタンを押します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

本体の各種設定

ボタン確認音を設定する

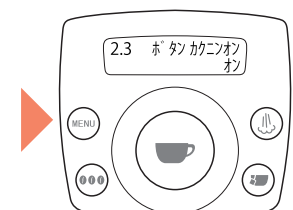
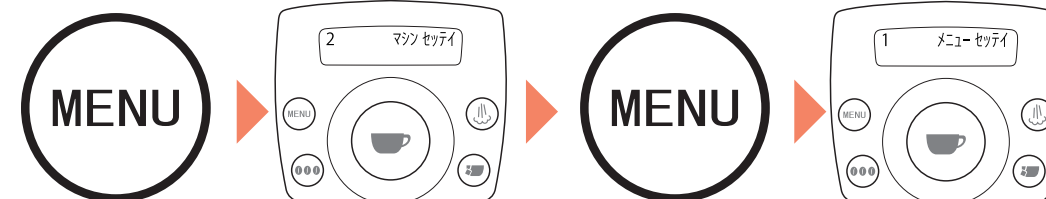
ディスプレイをタッチしたときに音を鳴らすかどうかの決定をします。

1 プログラムメニューボタンを押します。

2 クリックホイールを回し「マシンセッテイ」を選択します。。

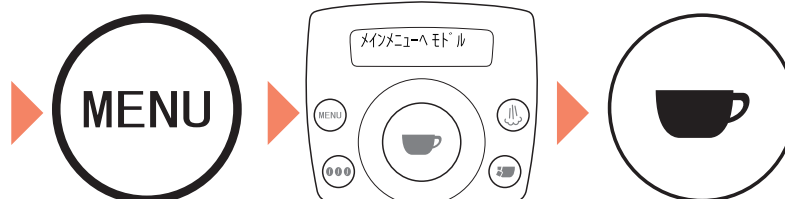
コーヒー / 確定ボタンを押します。

3 クリックホイールを回し「ボタンカクニンオン」を選択します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

4 クリックホイールを回し「オン」または「オフ」を選択します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

5 プログラムメニューボタンを押します。

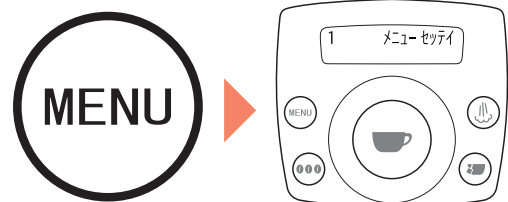
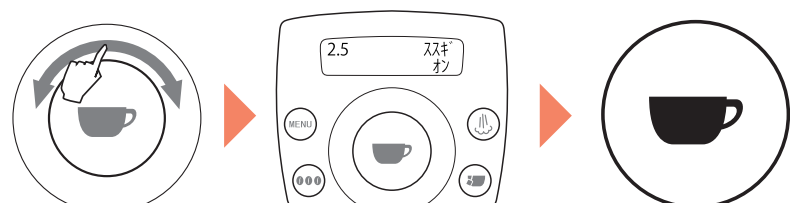
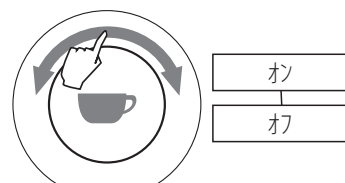
プログラムメニューボタンを押します。

プログラムメニューボタンを押します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

本体内部の水経路のすすぎ設定をする。

コーヒーを常に新鮮な水で作るために、本体内部の水経路のすすぎ設定をします。
この設定は初期設定でオンになっています。

メモ すすぎ設定がオンになっていると、電源をオンにしてウォームアップが終了した後に、常に本体内部の水経路のすすぎを行います。

1 プログラムメニューボタンを押します。

2 クリックホイールを回して「マシン　セッテイ」を選択します。
コーヒー / 確定ボタンを押します。

3 クリックホイールを回して「ススギ」を選択します。
コーヒー / 確定ボタンを押します。

4 クリックホイールを回し「オン」または「オフ」を選択します。

5 コーヒー / 確定ボタンを押します。
プログラムメニューボタンを押します。

6 プログラムメニューボタンを押します。
プログラムメニューボタンを押します。
コーヒー / 確定ボタンを押します。

本体の各種設定

アクアプリマ交換アラームの設定をする

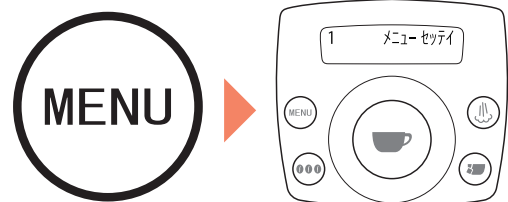
アクアプリマの交換時期を知らせる警告表示のオン/オフの設定を行います。
また、アクアプリマを交換したときの初期化を行います。

!注意 この設定はアクアプリマが水タンクに装着されているときにだけオンにしてください。

メモ 「アクアプリマショキカ」を実行すると、交換時期を知らせる警告表示は自動的にオンになります。

1

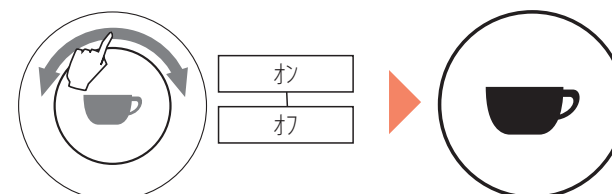
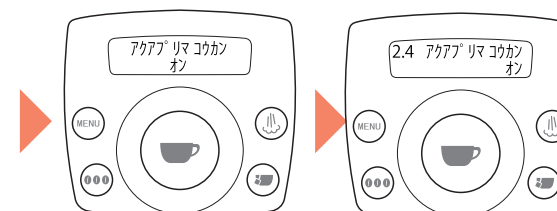
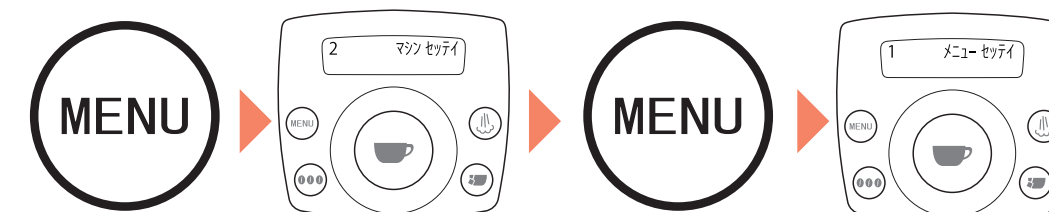
プログラムメニューボタンを押します。

2

クリックホイールを回して「マシン　セッテイ」を選択します。

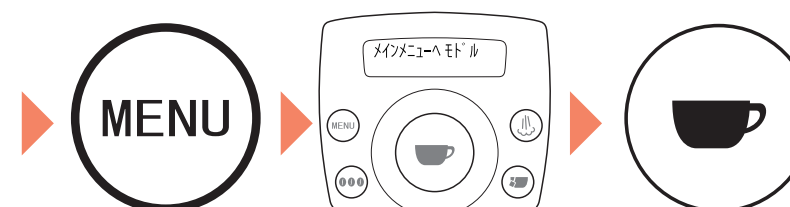
コーヒー / 確定ボタンを押します。

3

クリックホイールを回して「アクアプリマ　コウカン」を選択します。

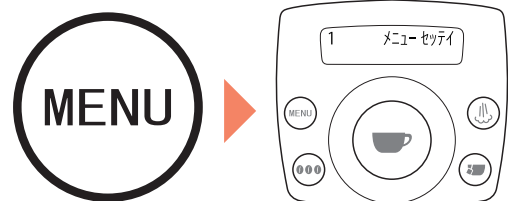
コーヒー / 確定ボタンを押します。

4 クリックホイールを回し「オン」または「オフ」を選択します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

5 プログラムメニューボタンを押します。

プログラムメニューボタンを押します。

プログラムメニューボタンを押します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

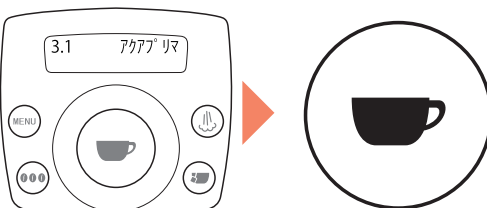
アクアプリマを交換したときの初期化

1

プログラムメニューボタンを押します。

2

クリックホイールを回して「メンテナンス」を選択します。

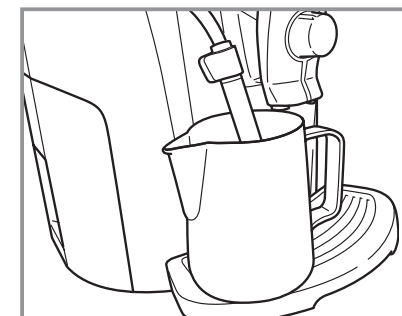
コーヒー / 確定ボタンを押します。

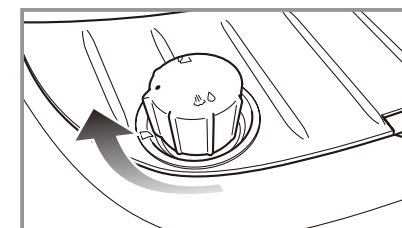
3

コーヒー / 確定ボタンを押します。

4

クリックホイールを回して「カドウ」を選択します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

5 スチーム・給湯ノズルの下に容器を置きます。

6 「アケテクダサイ　キュウトウ・スチームノブ」というメッセージが表示されたら、ノブを♨💧の位置まで回します。

スチーム・給湯ノズルからお湯が出てきます。

中断する場合はノブを閉めます

水タンクに水を入れます。

7 「シメテクダサイ キュウトウ・スチームノブ」というメッセージが表示されたら、ノブを●の位置まで戻します。

これで設定が完了しました。

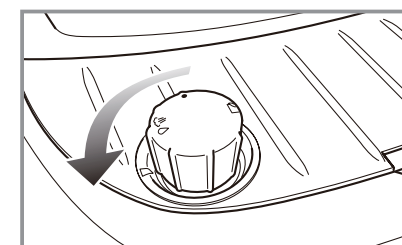
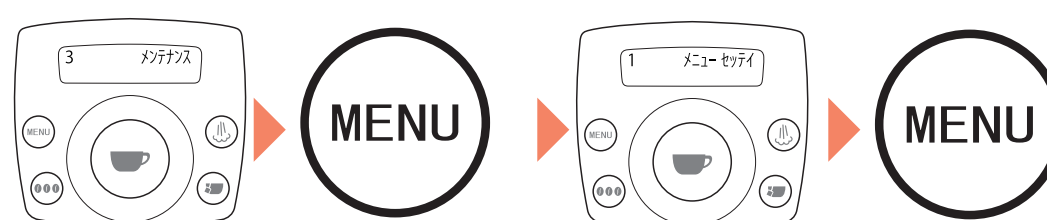
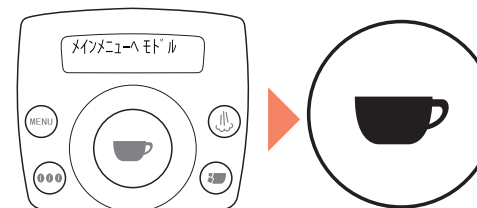
抽出画面に戻ります。

8

プログラムメニューボタンを押します。

プログラムメニューボタンを押します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

本体の各種設定

アクアプリマの処理可能量の表示

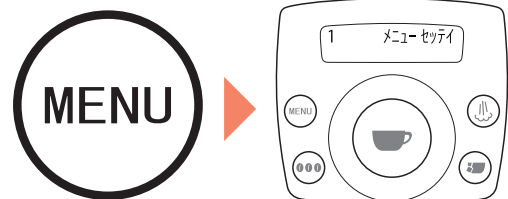
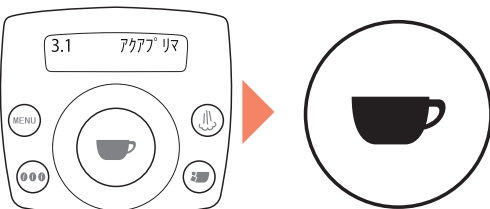
1

プログラムメニューボタンを押します。

2

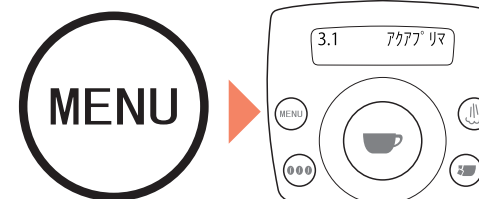
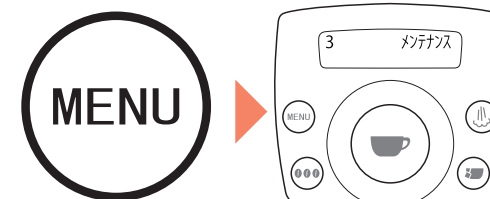
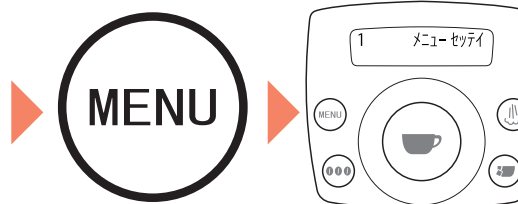
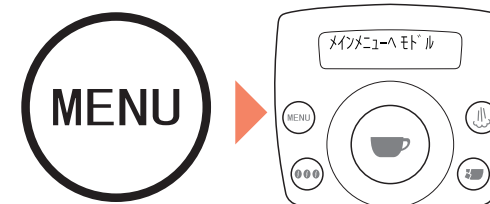
クリックホイールを回して「メンテナンス」を選択します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

3

コーヒー / 確定ボタンを押します。

4

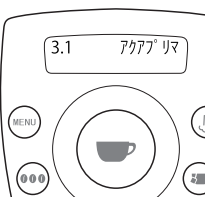
利用可能量を確認します

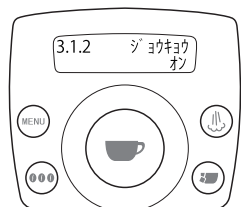
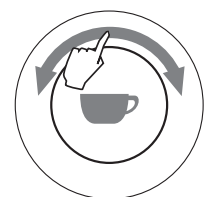
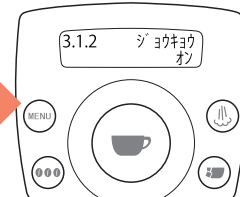
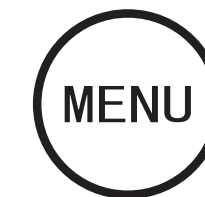
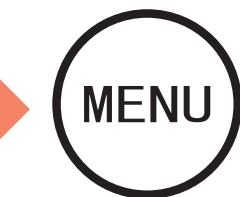
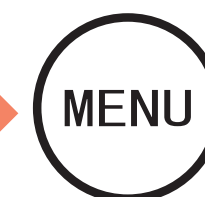
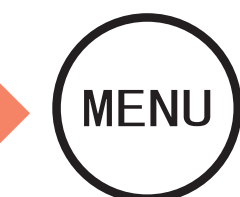
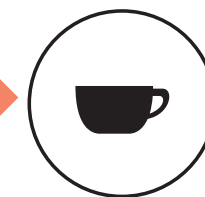
5

プログラムメニューボタンを押します。

プログラムメニューボタンを押します。

プログラムメニューボタンを押します。

プログラムメニューボタンを押します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

アクアプリマの使用状況

1 プログラムメニューボタンを押します。

2 クリックホイールを回して「メンテナンス」を選択します。
コーヒー / 確定ボタンを押します。

3 コーヒー / 確定ボタンを押します。

4 クリックホイールを回して「ジョウキョウ」を選択します。
コーヒー / 確定ボタンを押します。

5 クリックホイールを回し「オン」または「オフ」を選択します。
コーヒー / 確定ボタンを押します。

6 プログラムメニューボタンを押します。
プログラムメニューボタンを押します。
プログラムメニューボタンを押します。
プログラムメニューボタンを押します。
コーヒー / 確定ボタンを押します。

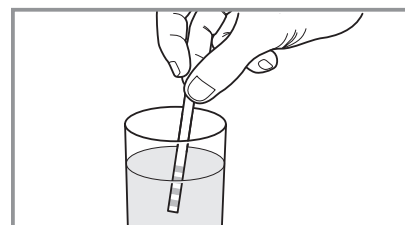
水の硬度を設定する

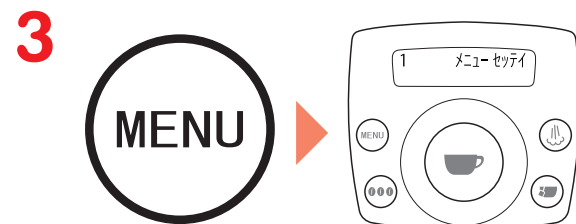
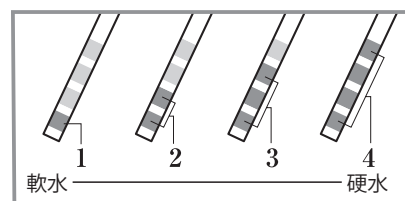
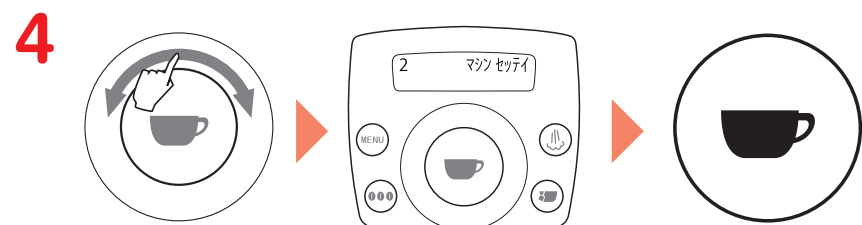
使用する水の硬度を設定します。この設定を元に除石灰作業の必要を知らせる警告表示を行います。

メモ 水の硬度によって除石灰表示までの水の量が決まります。
水の高度が１の場合：60ℓ　アクアプリマを装着した場合：120ℓ

1 水の硬度を付属の水硬度測定紙を使って測定します。

使用する水の中に測定紙を１秒間つけます。

メモ 水硬度測定紙は一度しか測定できません。

2 変化した色を見て１～４の数値（水の硬度）を確認します。

メモ 初期設定では１に設定されています。日本国内における使用であれば、１で問題ありません。

3

プログラムメニューボタンを押します。

4

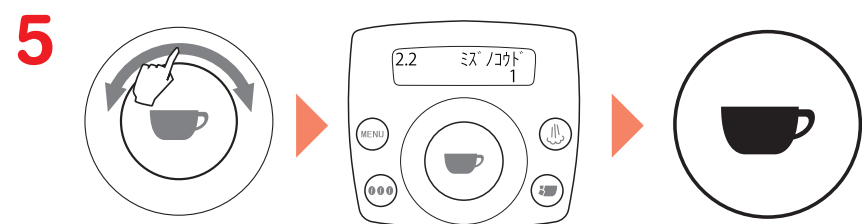
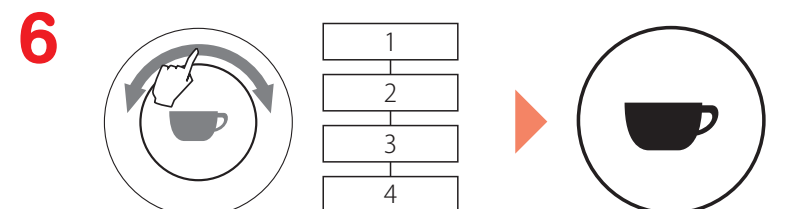
クリックホイールを回して「マシン　セッテイ」を選択します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

5

クリックホイールを回して「ミズノコウド」を選択します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

6

クリックホイールを回して「コウド」を選択します。

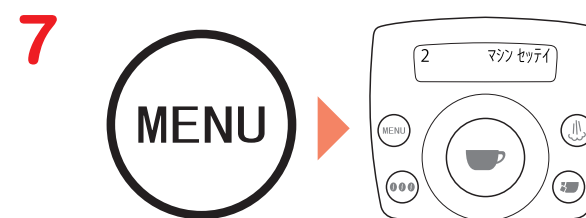
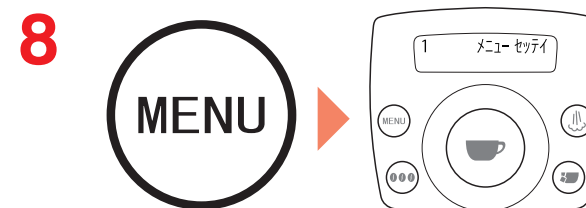
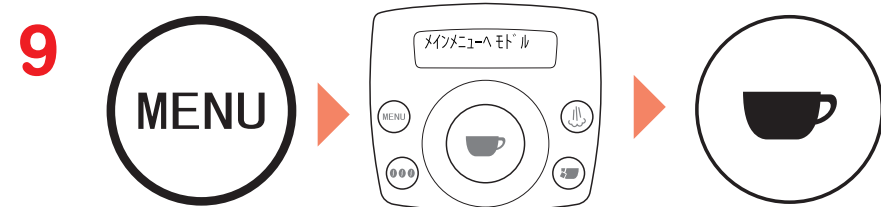
コーヒー / 確定ボタンを押します。

7

プログラムメニューボタンを押します。

8

プログラムメニューボタンを押します。

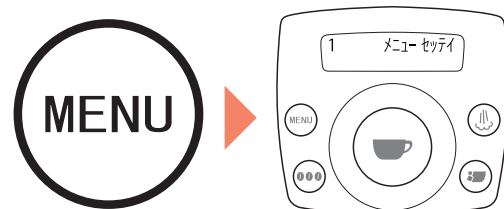
9

プログラムメニューボタンを押します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

スタンバイ（節電）モードを設定する

本製品が待機状態にあるとき、電力を節約するために動作を停止させる機能がスタンバイ（節電）モードです。最終抽出後に、スタンバイ（節電）モードに入るまでの時間を設定できます。

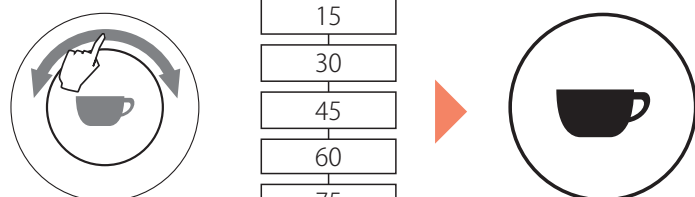
メモ 初期設定では３時間後に設定されています。

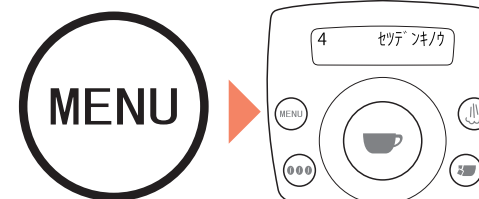
1

プログラムメニューボタンを押します。

2

クリックホイールを回し「セツデンキノウ」を選択します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

3

クリックホイールを回してスタンバイモードに入るまでの時間を選択します。

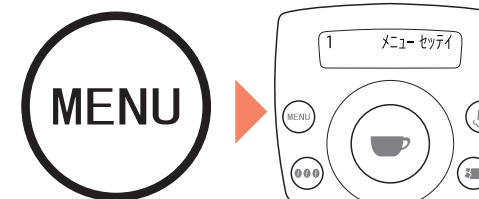
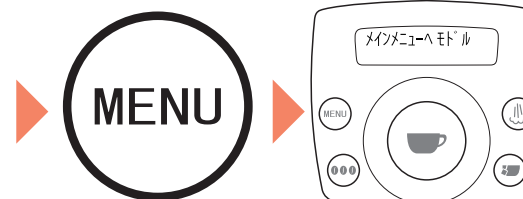
コーヒー / 確定ボタンを押します。

4

プログラムメニューボタンを押します。

プログラムメニューボタンを押します。

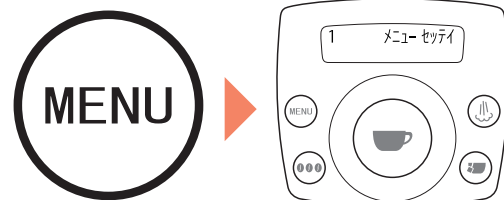
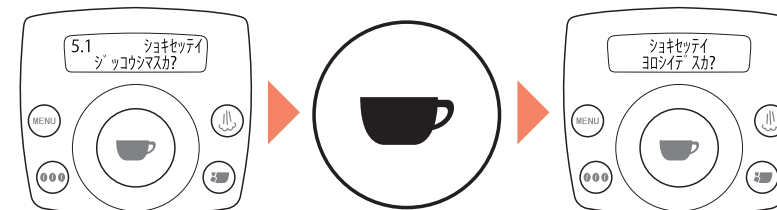
プログラムメニューボタンを押します。

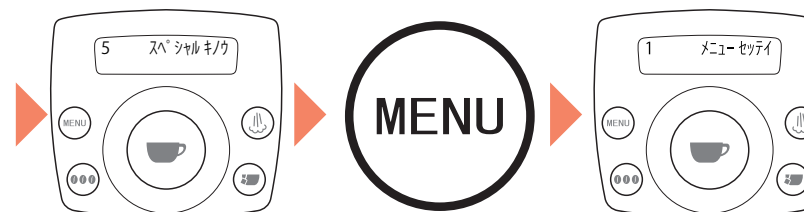
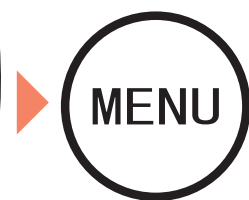
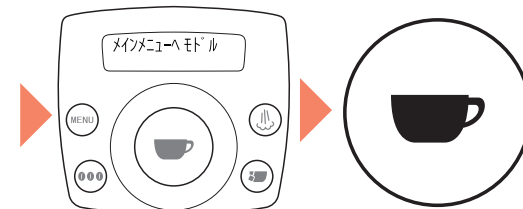
コーヒー / 確定ボタンを押します。

本体の各種設定

工場出荷時の設定にすべて戻す

すべての設定を出荷時の初期設定に戻すための機能です。

!注意 お客さまが設定した設定はすべて消去され、復元できません。

1

2

3

コーヒー / 確定ボタンを押します。

日常のお手入れ

本体内部の水経路の洗浄

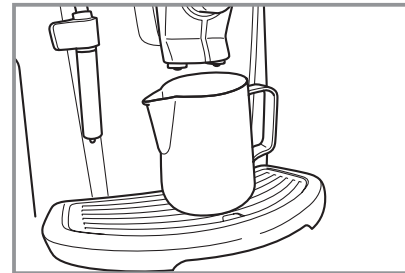
１日の終わりに必ず実施してください。

ブルーイングユニット洗浄用のタブレット（サエコ　クリーニングタブレット）を使って、コーヒーの抽出で使用するブルーイングユニットやマシン内部の水経路をクリーニングします。

!注意 クリーニングは途中で止めることはできません。

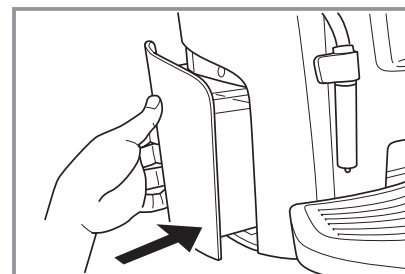
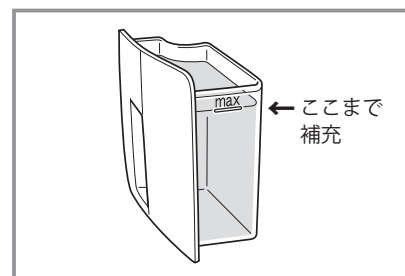
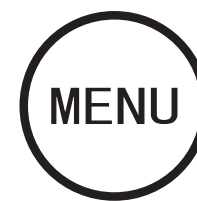
!注意 クリーニングが終了するまで約３分間ほどかかります。クリーニング実施中は本製品から離れないでください。

1 コーヒー排出口の下に500cc程度の大きさの容器を置きます。

注意 クリーニングタブレットは口に入れないでください。万一飲み込んだときはすぐに水または牛乳を飲ませ、クリーニングタブレットを持参し、医師に相談してください。

2 ブルーイングユニット洗浄用のタブレットを、粉末コーヒー投入口に入れます。

3 水タンクに水をMAXのすぐ下まで補充し、本体に取り付けます。

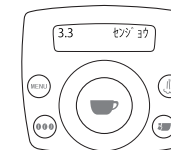
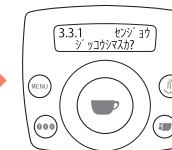
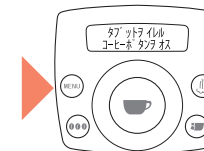
!注意 水タンクのフタを確実に取り付けてください。

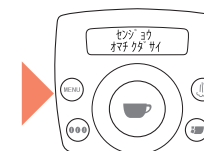
4

プログラムメニューボタンを押します。

5

クリックホイールを回して「メンテナンス」を選択します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

6

コーヒー / 確定ボタンを押します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

水タンクに水を入れます。

プログラムメニューボタンを押します。

プログラムメニューボタンを押します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

メモ クリーニングタブレットのご購入は本製品のご購入先でお求めください。
また弊社ホームページからもご注文いただけます。
www.saeco.co.jp/

ブルーイングユニット以外の洗浄

１日の終わりに必ず実施してください。

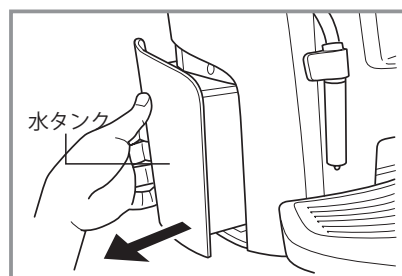
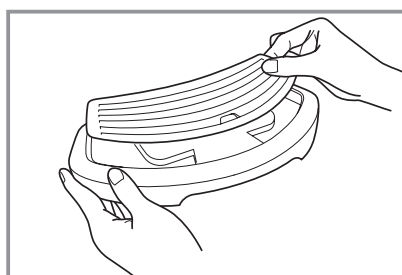
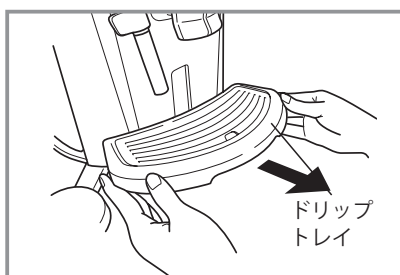
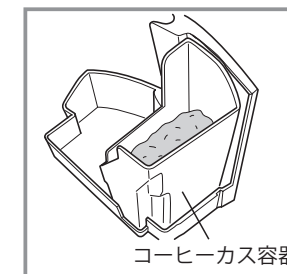
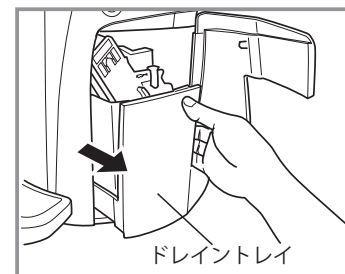
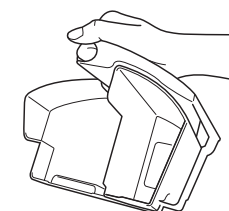
本製品を清潔にお使いいただくために、毎日必要なお手入れがあります。

警告 お手入れの前に必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因になります。

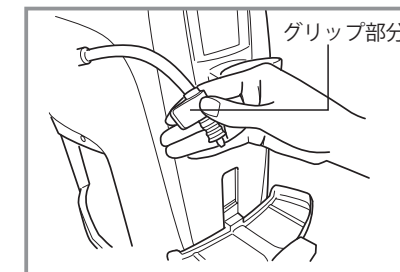
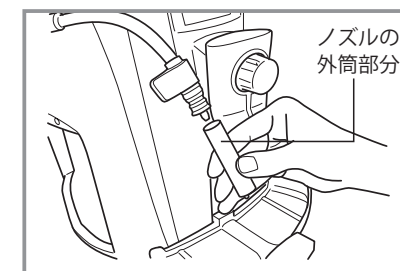
警告 本製品に水をかけたり、水に浸さないでください。電気部品に水が入り、故障の原因になります。

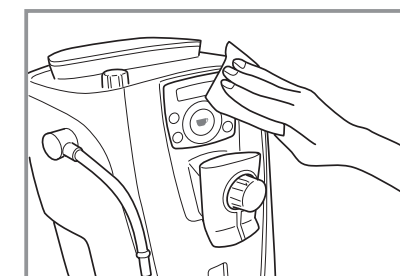
!注意 電源スイッチを切った状態またはディスプレイに指示が出ていないときにコーヒーカスを取り除くと、カスを排出する回数がリセットされません。そのために２、３杯抽出しただけで画面に「コーヒーカスヨウキヲカラニシテクダサイ」というメッセージが出ることがあります。

1 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 水タンクと水タンクカバーを本体から外して水洗いします。

3 ドリップトレイを外し、たまった排水を捨てて水洗いします。

4 サイドドアを開けてドレイントレイを外し、コーヒーカス容器にたまったコーヒーカスと排水を捨てて水洗いします。

注意 コーヒーカス容器はドレイントレイに固定されていません。傾けたときにドレイントレイからコーヒーカス容器が外れることがありますから注意してください。

5 スチーム・給湯ノズルの外筒部分と、グリップ部分（黒いつまみ）を外して水洗いします。

!注意 ノズルが十分冷めてから行なってください。

注意 作業はスチーム・給湯ノズルが十分にさめてから行ってください。お湯やスチームを 出した直後はスチーム・給湯ノズルが高温になっているため、ノズルに触れるとヤケドの原因となります。

6 取り外して水洗いした部位が乾いたら元のように取り付けます。

7 ディスプレイを湿らせて固くしぼった布で拭きます。

ブルーイングユニットの洗浄

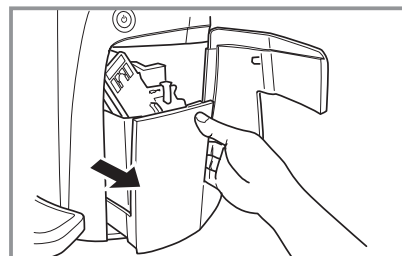
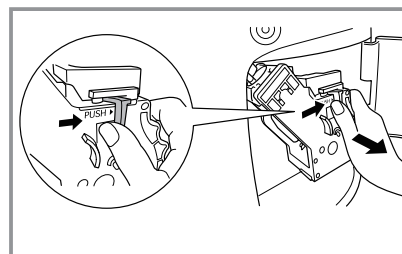
1日の終わりに必ず実施してください。

 警告 ブルーイングユニットの正確な動作に支障をきたす恐れがあるため、洗剤で洗わないでください。また、食器洗い機でも洗わないでください。

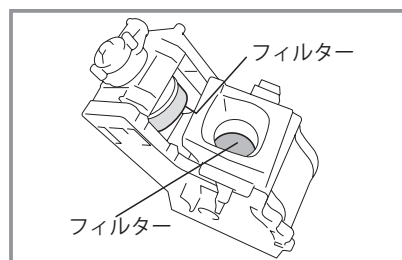
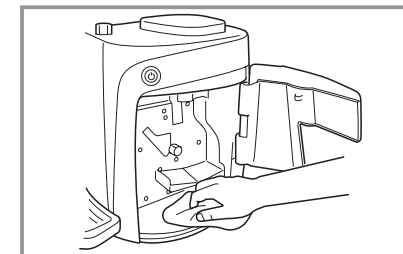
!注意 ブルーイングユニットは、グリースを流さないように必ず水で洗ってください。

!注意 ブルーイングユニットの洗浄をする前に、本体内部の水経路のクリーニングを行います。

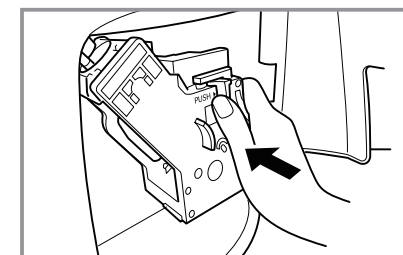
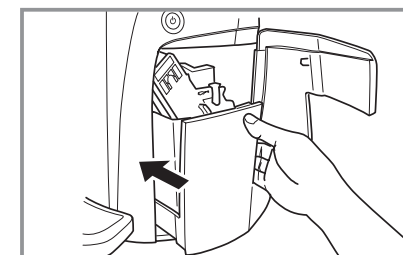
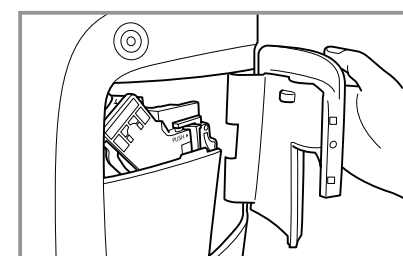
［☞ 55 p　本体内部の水経路のクリーニング］

1 サイドドアを開き、ドレイントレイを外します。

2 プッシュボタンを押して、ブルーイングユニットを取り外します。

3 ブルーイングユニットを流水で洗って、乾燥させます。

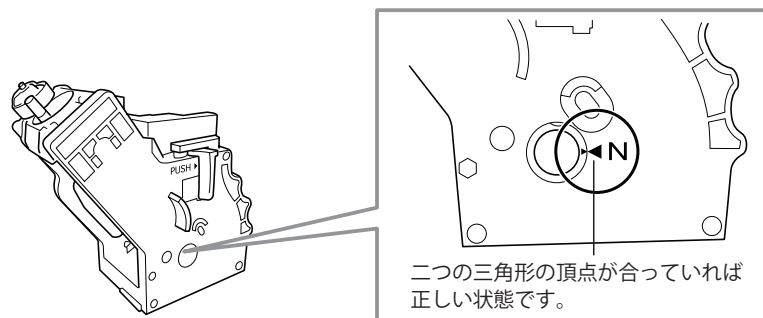
メモ 特にフィルター（メッシュ）部分は、付属のクリーニングブラシを使って念入りに洗ってください。

 注意 お湯や洗剤は使用しないでください。グリースが流れて動作不良を起こすことがあります。

4 ブルーイングユニットが収まっている箇所を乾いた布で拭きます。

5 ブルーイングユニットをセットします。きちんと装着された場合はカチッと音がします。

!注意 プッシュボタンは押さないでください。

!注意 ブルーイングユニットがうまくセットできないときは次頁の「ブルーイングユニットをセットする前に確認してください」を参照してください。

6 ドレイントレイとコーヒーカス容器をセットします。

7 サイドドアを閉じます。

ブルーイングユニットをセットする前に確認してください

1 ブルーイングユニットが停止位置にあることを確認します。

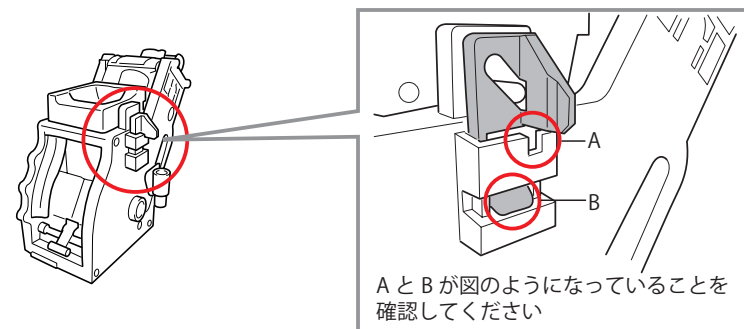
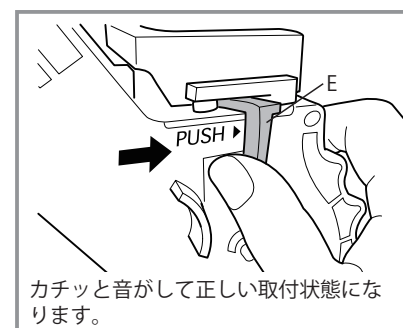
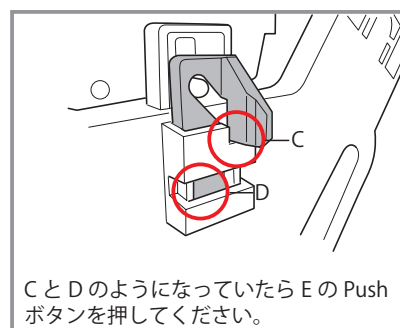
二つの三角形の頂点が合っていれば正しい状態です。

2 矢印の部品が正しい位置にあることを確認します。

本体から取り出したときにフックの作用により、上部に位置してしまうことがあります。

A と B が図のようになっていることを確認してください

部品が外れている状態

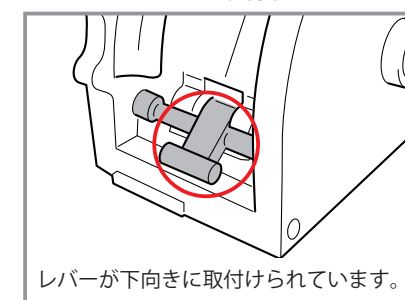
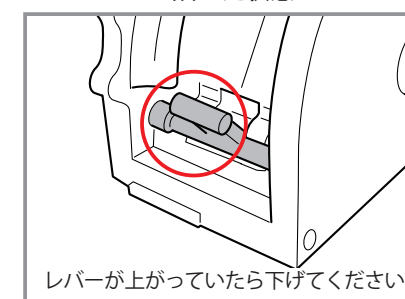
C と D のようになっていたら E の Push ボタンを押してください。

カチッと音がして正しい取付状態になります。

3 ブルーイングユニットの後ろの部分のレバーは、ユニットのベースに接触しているか確認してください。

正しい取付状態

レバーが下向きに取付けられています。

誤った状態

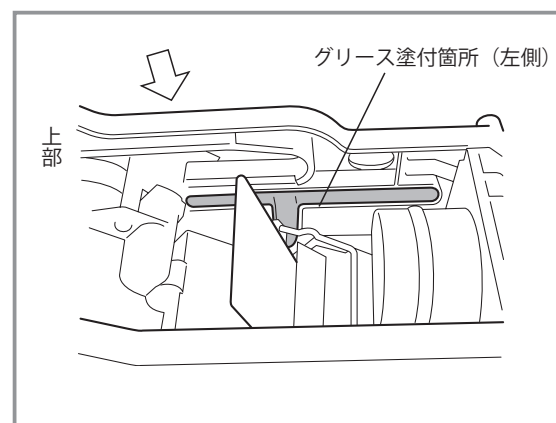
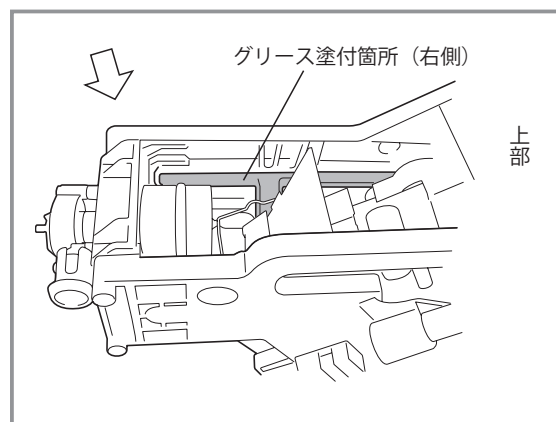
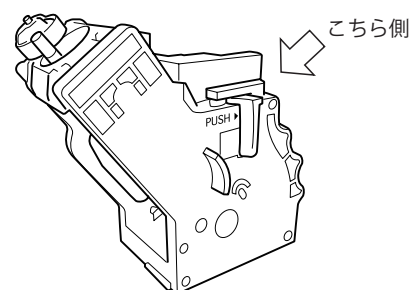
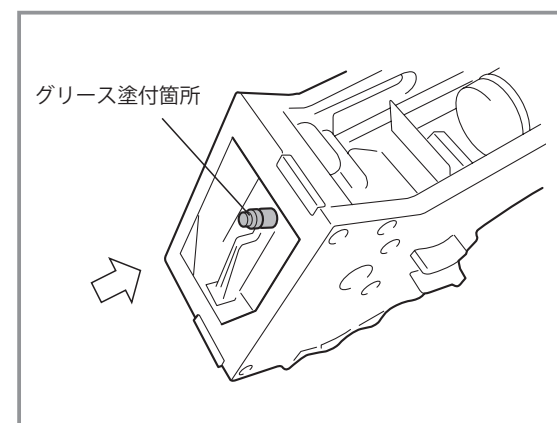
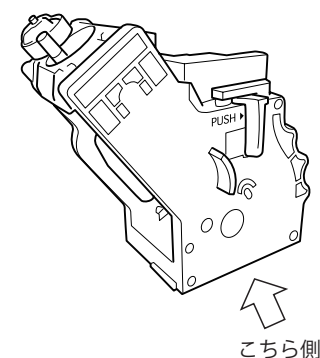
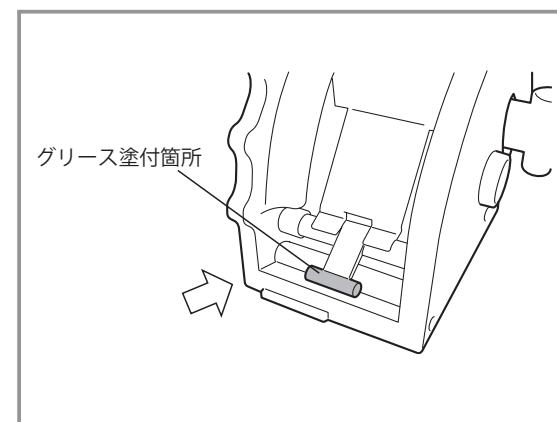
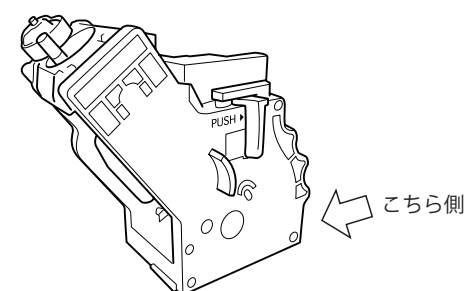
レバーが上がっていたら下げてください。

ブルーイングユニットのグリース塗付

注意 ブルーイングユニットは、3ヶ月に一度、グリースを塗付してください。
おこたると動作不良を起こす恐れがあります。

グリースの塗付は3箇所あります。以下の塗付箇所に綿棒などで塗付してください。

メモ サエコ　ブルーイングユニット用グリースは口に入っても問題のない成分でできています。

メモ サエコ　ブルーイングユニット用グリースは本製品のご購入先でお求めください。
また弊社ホームページからもご注文いただけます。
www.saeco.co.jp/

1 内部両サイドのレール（溝）部分

2 底部ピン部分

3 背面のレバー部分

お手入れ

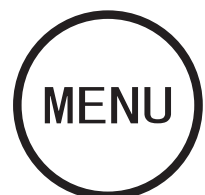
ボイラー除石灰の処理可能残量

1

MENU

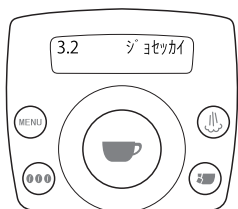
プログラムメニューボタンを押します。

1 ﾒﾆｭｰ ｾｯﾃｲ

2

クリックホイールを回して「メンテナンス」を選択します。

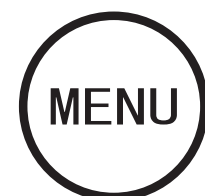
コーヒー / 確定ボタンを押します。

3

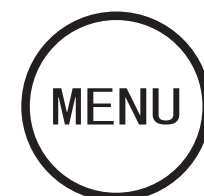
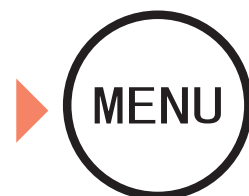
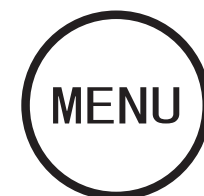
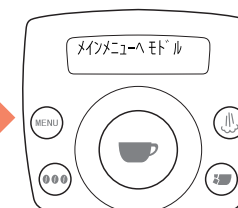
クリックホイールを回して「ジョセッカイ」を選択します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

4

処理可能量を確認します

5

プログラムメニューボタンを押します。

プログラムメニューボタンを押します。

1 ﾒﾆｭｰ ｾｯﾃｲ

プログラムメニューボタンを押します。

プログラムメニューボタンを押します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

ボイラー除石灰サイクルの実施

長期間使用していると内部部品のボイラーに、水に含まれる石灰成分が付着します。それを取り除くために、本製品がそれを指示したときに実施してください。除石灰作業はプログラムで自動的に行います。

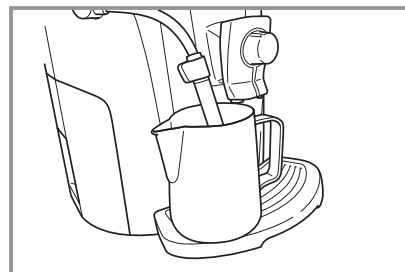
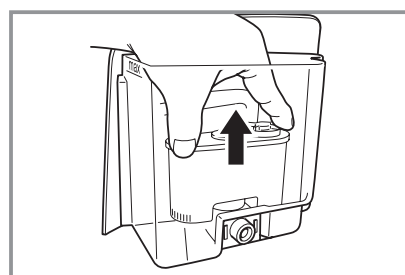
除石灰の目安(水硬度１の場合)	
・アクアプリマ装着時	120ℓ
・アクアプリマ未装着時	60ℓ

 注意 除石灰剤として、絶対に酢は使わないでください。故障の原因になります。

⚠ **注意** 指示が出た際は必ず実施してください。実施しないと石灰が詰まり故障の原因となります。

メモ 除石灰剤にはサエコ　デカルリキッドをお勧めします。

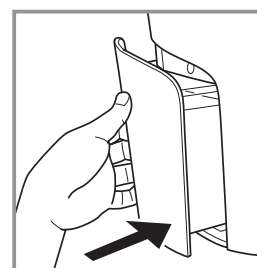
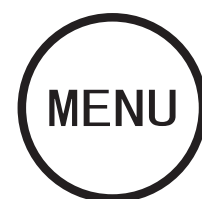
メモ 除石灰作業が終了するまで30分弱かかります。実施中はそばを離れないでください。

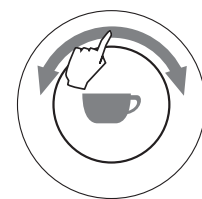
1 スチーム・給湯ノズルの下に500cc程度の大きさの容器を置きます。

2 水タンク内部に装着されているアクアプリマを外します。

3 水タンクに水を入れて、本体に取り付けます。

!注意 水の量はMAXの下までくるように入れます。

!注意 水タンクのフタを確実に取り付けてください。

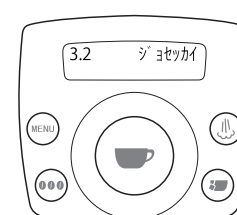
水面は MAX の下まで。

4

プログラムメニューボタンを押します。

5

クリックホイールを回し「メンテナンス」を選択します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

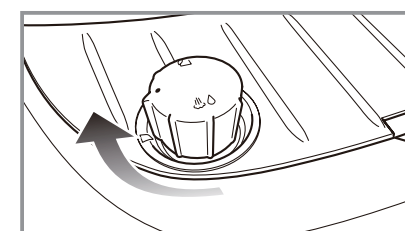
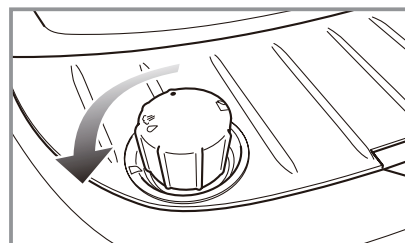
6

クリックホイールを回して「ジョセッカイ」を選択します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

7

コーヒー / 確定ボタンを押します。

8 「アケテクダサイ　キュウトウ･スチームノブ」というメッセージが表示されたら、ノブを♨💧の位置まで回します。

スチーム・給湯ノズルからお湯が出てきます。

9 「シメテクダサイ キュウトウ・スチームノブ」というメッセージが表示されたら、ノブを●の位置まで戻します。
これで設定が完了しました。
抽出画面に戻ります。

10

デカルリキッドを水タンクに入れてください。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

11 「アケテクダサイ　キュウトウ・スチームノブ」というメッセージが表示されたら、ノブを♨💧の位置まで回します。
スチーム・給湯ノズルからお湯が出てきます。

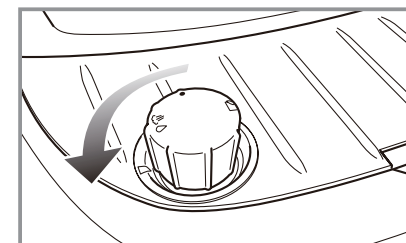
12

水タンクに水を入れます。

13

コーヒー / 確定ボタンを押します。

水タンクに水を入れます。

14 「シメテクダサイ キュウトウ・スチームノブ」というメッセージが表示されたら、ノブを●の位置まで戻します。
これで設定が完了しました。
抽出画面に戻ります。

15

プログラムメニューボタンを押します。

プログラムメニューボタンを押します。

コーヒー / 確定ボタンを押します。

故障かなと思ったら

次のようなエラーメッセージが表示されたら「対処」を読んで適切に処置してください。

メッセージ	対処
out of service (xx) restart to fix…	（ｘｘ）はエラーコードを示しています。マシンの電源を切り、30秒後に再度電源を入れると通常の状態に戻ります。もし、問題が解決しない時は弊社技術・流通センターに連絡を取り、画面に出ているコード（ｘｘ）をお知らせください。
close coffee bean lid	コーヒー豆容器カバーを閉めてください。
fill container wth coffee	コーヒー豆容器にコーヒー豆を補充してください。
insert the brew group	ブルーイングユニットをきちんと装着してください。
insert grounds drawer	コーヒーカス容器を装着してください。
empty grounds	マシンがブロックしないように警告が出ます。次の警告へ進みます。
empty grounds drawer	カス容器を外し、カスを捨ててください。(30ページのステップ4と5参照) **!注意 カス容器はマシンが指示するときと、マシンの電源がＯＮの時だけ空にしてください。マシンの電源がOFFの時にカスを捨てても、この動作は記憶されません**
close door	サイドドアを閉めてください。
fill the water tank.	水タンクを外し、新鮮な水を補充してください。
empty drip tray	サイドドアを開け、ブルーイングユニットの下のドレイントレイの排水を捨ててください。
change the filter	アクアプリマを交換してください。以下の場合も交換する必要があります。 1. 60リットルの水をろ過した時 2. 設置から90日が経過した時 3. マシンを20日間使用しなかった時 **!注意 上記のメッセージはフィルター機能が"on" の時にのみ、表示されます。(21ページ参照)**
carafe missing milk island missing	スチーム・給湯ノブが位置まで回されているのにミルクアイランドがセットされていません。もしくはカラフェが正しい位置にありません。ミルクアイランドをセットし、正しくカラフェを装着してください。また、ノブを一度停止位置まで戻してください。
descale	除石灰作業を行ってください。
stand-by…	ボタンを押してください。。

上記対処を行っても改善されないときは、弊社技術・流通センターへご相談ください。

トラブルシューティング

問題	原因	解決法
マシンの電源が入らない。	マシンが電源に接続されていない。	マシンを電源に接続してください。
	プラグがマシン背後のソケットに差し込まれていない。	プラグをマシンの電源ソケットに差し込んでください。.
お湯あるいはスチームが出ない。	スチーム・給湯ノズルの詰まり。	ピンでスチーム・給湯ノズルの穴を掃除してください。
コーヒーのクレマ（泡）が少ない。	コーヒーブレンドが不適切か炒りたてでない。	コーヒーブレンドを変更してください。
	SBSノブが左に回っている。	SBSノブを右側に回してください。
ブルーイングユニットが出てこない。	ブルーイングユニットの状態が適切でない。	マシンの電源を入れ直してください。サイドドアを閉じると、ブルーイングユニットが自動的に正しい位置におかれます。
	カス容器が装着されている。	まずカス容器を外し、それからブルーイングユニットを外してください。
コーヒーが抽出されない。	水タンクが空	水タンクを満水にして再度、給湯機能を使って水を出してください。
	ブルーイングユニットの汚れ。	ブルーイングユニットをクリーニングしてください。
抽出速度が遅い。	コーヒーの粒子が細かすぎる。	コーヒーブレンドを変更、もしくは一杯あたりの豆量を減らしてください。
	ブルーイングユニットの汚れ。	ブルーイングユニットをクリーニングしてください。
コーヒー抽出口からコーヒーが漏れる。	コーヒー抽出口が詰まっている。	柔らかな布もしくは 綿棒などで抽出口(穴)をクリーニングしてください。

上の表にない問題や提示されている方法では解決できない場合は、弊社技術・流通センター(TEL：050-5525-7025)にお問い合わせください。

保証とアフターサービス

保証書

- このサエコエスプレッソマシンには、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめの上、大切に保管してください。
- このサエコエスプレッソマシンの保証期間はお買い上げいただいた日から１年間です。
  その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品を指します。
- 本エスプレッソマシンの補修用性能部品保有期間は、製造打ち切り後、5年です。
- 保有期間経過後も部品を保有している場合がございますので、お問い合せください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- ご不明な点や、修理に関するご相談は下記へご連絡ください。
- @@ ページの記載に従って製品を調べていただき、なお異常がある時は使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いてから下記へご連絡ください。

日本サエコ株式会社
技術・流通センター
TEL：050-5525-7025

日本サエコ株式会社
西日本サービスセンター
TEL：0797-84-0344

平日　　　：AM 9：00～PM 18：00
土･日･祝日：AM 10：00～PM 17：00

修理のご依頼は

- 故障と間違えやすい状況が発生することがございますので、@@ページの記載を事前にご確認ください。また、ご依頼の前に技術・流通センターへご相談されることをお薦め いたします。
- 修理を依頼される際は次頁に必要事項をご記入の上、お手数ですが製品を梱包していただき、下記までご送付ください。（宅配便利用：お送りいただく際の送料は、お客様の ご負担となることをご了承ください）

日本サエコ 技術・流通センター
（東日本担当）
〒226-0022
神奈川県横浜市緑区青砥町385
電話：050-5525-7025

日本サエコ 西日本サービスセンター
〒665-0823
兵庫県宝塚市安倉南1-9-41
電話：0797-84-0344

修理依頼書

修理依頼日	年　　月　　日
ご依頼主	会社名／店舗名 ご担当者名（　　　　）
	住　所
	電話番号
	FAX番号
マシン名	**Talea Ring**（タレア　リング） シリアルNo.【　　　　】
故障状況	□ マシン下より水漏れ　□ お湯抽出せず □ 空気抜き表示解除できず　□ スチーム出ず □ 動作時異音　□ 適正温度待ち解除せず □ コーヒー抽出せず　□ グラインダー動かず □ 破損 □ その他（　　　　）
見積書提出	□ 要　／　□ 不要
修理完了機のご返送先（ご依頼主と違う場合のみ）	
備　考	

保証とアフターサービス

仕様

電源	100V　50/60Hz
消費電力	1500W
本体材料	ＡＢＳ（熱可塑性プラスティック）
サイズ（幅 x 高さ x 奥行き）	320 x 370 x 400 mm
重量	9 Kg
電源コードの長さ	1200 mm
コントロールパネル	フロント（正面　２×16 文字）
水タンク容量	1. 7 リットル（取り外し可能）
コーヒー豆容器容量	２５０グラム
ポンプ圧力（気圧）	１５気圧（抽出時は９気圧）
ボイラー	ステンレス製
コーヒーグラインダー	セラミックグラインダー
一杯あたりのコーヒー豆量	約７～ 10.5 グラム
コーヒーカス受け容量	14杯
安全装置	ボイラ圧力安全弁、２重安全サーモスタット